●振替貯金口座番號第壹壹參八壹番●電話番町（一五二〇）（一七四五）番●

愛國婦人

毎月五日二十日發行

金六錢半年分參拾六錢全國無遞送料
廣告料一行六十錢
本號全部禁轉載
東京麹町區（牛ヶ淵公園）
發行所　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　大久保高明

●本號には愛國婦人會　總裁殿下御家庭の御照相を附錄として添ふ

社説

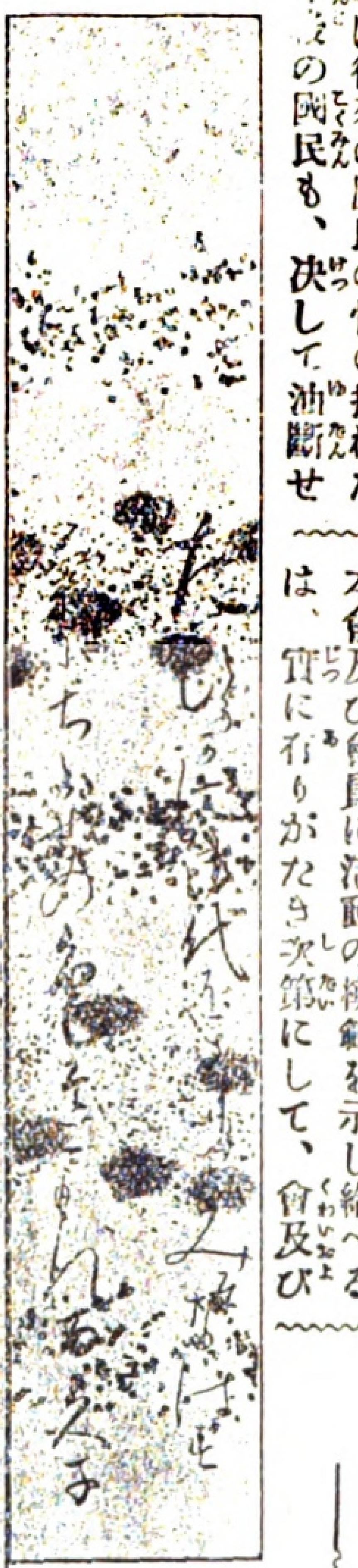
天長節

天下太平、五穀豐饒、菊花滿開、軒端にひらめく日の丸の旗の威勢よき中に、天長の佳節を祝ひまつることは、誠に目出度き極みにして、臣民の幸慶此上あるべからず。

明治の御代は四十年となりぬ。其間國家の運命に關するが如き事件は、一度ならず、二度ならず、起りて、成行如何にと氣遣はれたることも、何時も見事に立派に經過して、年一年と國家の隆盛に趣くといふは、全く叡聖文武なる陛下の御稜威に依ることにして、國民が世界に對して、恥しからざるの働きを、常に爲せるも、畢竟陛下の御稜威を頭に戴きて勇進せるの結果に外ならず。是れ過去に於て然るのみならず、將來においてまた然り。されば陛下の常にまさきく、御氣色うるはしく、ましますことは、直ち國家の隆昌國民の繁榮と同一事にして、天長の佳節に遇ふごとに、心中難有さと歡喜とに充ち滿てるは、是れ國民の至情なり。

語に曰く、四十にして惑はずと。明治の事業も、創業開拓の時期は、既に過ぎ去りて、これより大成の域に入らざるべからず。東西の文明が混合して半熟不消化を免れざりし時代を、過去のものとなして、調和成熟したる新文明を現出せしむることは今日我々の任務なり。荒削りのおほまかなる仕事は、濟みたれば、これよりは、本砥にかけて、こまかなる細工にかゝりて、文明の仕上げをなさゞるべからず。されば從來の國民の骨の折れたるが如く、今後の國民も、決して油斷せず、倍々努力せざるべからず。

今や我が國は、内地のみならず、臺灣、樺太、滿洲、朝鮮の開拓進歩は、皆我々日本人の經營を待てるものにして、日本人の仕事は、實に山の如くあるなり、しかも我等が此等の國家的事業において、如何なる障碍ありとも、從來に照して、國民最後の成功を疑はざるものは、一に陛下の御稜威に依りて働くとの信念あればなり。而して天長節は、年毎にこの信念を強からしめ、大ならしむるものなり。こゝに陛下の萬歳を唱へ、恭しく今日の佳節を祝し奉る。



愛國婦人會會長　公爵夫人　岩倉久子

總裁宮殿下の御精勵

愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下には、去にし四月下旬兵庫、岡山、愛知の諸縣支部總會に御台臨あらせられたるを始とし、五月中旬には神奈川支部總會に、七月上旬には新潟支部總會に、九月下旬には島根支部總會に、十月中旬には埼玉支部總會に御台臨あらせられ、尚來ん十一月下旬よりは廣島長崎の兩支部總會に御台臨あらせられんとす。

殿下が軍人遺族癈兵救護の事を、居常深く御心にかけさせらるゝのみならず、女性の御身を以て、遠隔不便をも厭はせられず、躬ら御出張御苦勞あらせらるゝこと、誠に恐懼感激の至に堪へず。宜べなり、軍人の遺族及び癈兵の子來して、其の厚き御恩惠に感泣せること。今や戰役中成立せし諸種の婦人會は、その終りを告げ、從て愛國婦人會の如き、爾來引續き、其事業を行ひつゝあるに拘はらず、やゝもすれば、世の注意を逸せんとするの際、總裁妃殿下が率先御精勵ありて、本會及び會員に活動の模範を示し給へるは、實に有りがたき次第にして、會及び會員たる者、大に奮勵せざるべけんや。乃ち本部を始め、地方の各支部は此際その會員を增募し、七十萬の會員は百萬ともなすの意氣込を以て大に活動せられんことを望むものなり。これ本會の目的を遺憾なく達せしむる所以にして、又總裁妃殿下の厚き思召に答へまつる唯一の方法なり。もしそれ本部各支部相約し、相勵みて、日を期して、一擧にして、一定數の會員を增募せんと努むるが如きは、最も快心の事にして、此際是非此擧に出でられんことを切望するものなり。世事出來ざるものなし。その出來ざるは、眞に出來ざるにあらずして、出來ぬと思ふ心が出來さゝぬなり、とは、我等の確信なり。會員增募の如きも、同じ事にて、遣らんと思ふの一心さへありて、會員一生懸命とならば、百萬とすることは、然程むつかしき事にあらず。換言すれば恐れ多けれども總裁宮妃殿下の御精勵御敢行の御精神を以て、會員各自の精神とすれば、それにて、出來るといふことなり。殿下の御行動を難有く感佩せるの餘り、本會及び會員に希望する所を述ぶ。

愛國婦人會評議員　跡見花蹊

つゆかゝるきくのうちなるあしたつはいまいくたびのちよをそふらん　伊勢

かはたみのてかねをゆるとみえつるはきしなるきくのあらふなりけり　靜賢

ときならぬゆきのつゝみとみゆるまていけをめくりてさけるしらきく　仲正

こよひはとこゝろえかほにすむつきのひかりもてなすきくのしらつゆ　西行

たれとわれにはにたはれんませゆひしやとのむらきくはなさきにけり　顯仲

なかつきのなかくにほへる菊をうゑておほくのあきをあかすかさゝん　苔生子

さきしよりひかすはあまたすきしかとうつろふへくもみえぬきくかな　春郷

しらきくのはなのさかりになりにけむおくらむつゆのちよのかすみむ　景樹

よゝをへてふちとなるてふつゆなからをりてかさゝんませのむらきく　千蔭

はるたてはまつさくうめのはなよりもあきのすゑのににほふしらきく　蘆庵

＊　＊　＊　＊　＊　・

天長節　愛國婦人會監事　公爵夫人　九條惠子

けふといへは高きいやしき大君のちとせをうたふ聲もにきはし

年ことにはた照る日影うら〳〵とわか大きみの御代祝ふなり

天長節に菊をよめる　愛國婦人會理事　侯爵夫人　鍋島榮子

うち外人ことほきかはす大君のちとせのいろも見ゆるしら菊

天長節の日に風送菊香といふ事を　愛國婦人會評議員　正四位　下田歌子

民艸の袂までこそかをるらめみかきの菊に朝風そふく

天長節　愛國婦人會評議員　中山幸子

君か代をいく千代かけてにほふらむみそのにさけるしら菊の花

天長節　愛國婦人會評議員　有島ゆき子

かけ高き大内山の御さかえをなほとこしへにいのるけふかな

君か代はこけむす岩ほかさなりて山となるまてつきせさらまし

＊　＊　＊　＊　＊

君か代は千代ともさゝし天の戸や出つる月日の限りなけれは　俊成

始めありて終のなきはあめつちとわか大君の御代となりけり　猛彥

筑波根のこのもかのもに蔭はあれと君か御蔭に增す蔭はなし　讀人不知

大國にうまるゝたにもうれしきにかく類なき御代にあひけり　春門

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論叢

女子の天職

日本興業銀行總裁法學博士 添田壽一

近頃歐米の大問題となり、將來益々大問題となりて、大に社會の注意を惹かんとしつゝあるものは、實に婦人の天職たる、母となるべき責任を缺くもの日々多からんとするの傾向である。元來婦人は結婚して主婦たるの任務を盡すと同時に、母となりて子孫の保育に從事すべきである。然るに社會の變遷に伴うて此自然の良習慣は打破され、母たるべき天職を缺くもの日々彌々多數たらんとする傾向を實現し來らんとするは、誠に寒心の至であると思ふ。今試に事の茲に至りし原因を列擧すれば、

第一、社會の狀况が結婚を妨ぐるに至る、即ち生計の困難と社會の風潮＝他動的原因。

第二、婦人自身に結婚を嫌ふに至れること、即ち出產より來る苦痛を避け、外貌の美其他一時の快樂を貪ること＝自動的原因。

今其結果の第一を概言すれば人口の減少するのである、人口の減少は國力の衰退を意味するのである、佛國の如き好適例である。其結果の第二は國民の德義の變退である、勿論文明國の事なれば德義の變退とて外に顯れず、又特に外に顯はさざることに努めつゝあるのである。是程大なる問題はなからうと思ふのである。歐米は今日有形上盛大を極めつゝありと雖も、他日此大問題の爲大に焦心苦慮すべき時が至るであらうと恐るゝのである。

人口の增殖に就きてマルサス氏の說を誤解して杞憂を抱くものもなきではないが、此說は主に不健全不生產的の人物の社會に增加するを不可とし戒せしものである。試みに強て人口を抑制する事となるらんか、人口が年々減少するの國家に於ては畢竟國力の衰退を來たさゞるを得ざるべく思はる、少くも此の如き國家が外に向て發展するは望むべからざることゝ思はる、但佛國の現狀を維持しつゝあるは其國民の非常に勤儉にして且愛國心に富めると又他國人の年々來遊するもの多くして、其人々の費消する數億萬圓の富の此國土を潤すに因るのである、即年々人口の減少する佛國にして幸に其國力の衰退せざるが如きは除外例として見るべきである。扨我邦に於ては目下幸に人口增殖の點に於ては佛國に於けるが如き現象を呈せざるが、希くは永く現狀を持續せしめたきものである。今如此希望を有する以上は歐米先進國に於ける如き人口增殖を阻害する原因を調查し、如此原因の我國社會に發生せざる樣之が防禦策を今日に講究するの必要を認むるのである。實に目下の急務として之が原因を調查すると同時に、其原因は我國家より永く排除する道を講究すべきであると信ずる。既に述べたる如く本問題の二原因中、他動的原因に就ては租稅政策其他の手段により可成生計の困難を輕からしめ、又社會も女子の獨身生活を否認し不自然のものとし之に十分の擊破を加へ、女子の天職を全うせしむるの潮流を作成するに油斷なき樣注意すること。(女子の學校生活の如きは學年の長短と其課程の內容に向て十分の注意を加ふるにあらざれば反て反對の潮流を起し來るの恐れあり)次に自動的原因に就いては女子をして其本分を守らしめ天職を完くすることを專一と爲さしむること必要なり、殊に一時不自然の快樂は終生無限の快樂と相容れざるものなることを覺知せしむべきである。

歐米に於ける婦人の狀態を見るに妙齡を過ぐるも尙結婚する能はず、徒らに父兄の厄介となるを好まず又厄介となる能はざるにより各種の職業に從事せざるを得ざるものあり、社會も亦之を普通の事として女子の獨身生活を異とせざるのみならず、却て之を常態なりとし尙進んでは女子職業從事を歡迎するに至る。

案ずるに女子の職業從事を可とするは所謂貨物生產行爲のみを以て經濟の本能とする狹見にして、彼の廣き意味の經濟即社會經濟より觀察を下す時は女子が其家を離れて(併し內職の如きは大に可なり)工場、事務所其他婦人の身體性質天然の能力に適せざる事業に從事するは、利害相半すると云はんよりは寧ろ弊害の多き場合なきにあらず。

凡そ女子の天職は之を一家より云へば外にあらずして內にあり、言を換ふれば良妻賢母たるにあり。例之ば數十錢の日給を得んがため家政整理の大任を空うするが如きは其失ふ所は金錢を以て之を算定すべきにあらず。男子は主に外に在て相當の事業に全力を傾注すべき天職を有するものである故、子女保育の如きは母たるものの懇切周到なる努力に俟たざるべからざるのである。又良人一日外に在て劇務に服し其疲勞せる體軀を家に運びたる後毫も之を慰安慰藉するものなくんば、其無形の損失は果して幾何なるやを慮はざるべからずである。况や良人が其快樂を求むる場合に於てをや。之等より生ずる弊害は到底數十錢の金錢を以て補足する能はざるは明瞭である。抑一國の根本は一家に在り、國民を善良健全に養成するは一家にあり、即一家は所謂國民の育成所にして、一國の盛衰は一家に於ける母の雙肩にかゝるものと云はざるべからず、吁婦人の天職重大なり。此重大なる責任を負へる婦人にして非結婚を稱へ獨立生活を營み自己の天職を空うするに至つては其國家の前途果して如何、實に寒心すべき一大疑問にあらずや。歐米に於ける實情、歷史、特別止むを得ざる事由を考查せず、徒に模倣に失し極端に走り一時皮想の謬見に誤らるゝの弊に陷るものなきにあらざるは大に笑ふべく又悲むべきである。眞に深く考へるときは女子の責任は獨立自活にあらずして(止むを得ざる場合は別として)良妻賢母たることにあるを認めざるを得ず。若し將來日本婦人が不幸にして此天職を空うし又は之を全うすること能はざるに至らんか、廣き意味の經濟に於て、國民の德風に於て、國民の養成に於て、國力の發展に於て、大に憂ふべきものあらんとす。

天然美の娛み

農學博士 澤村眞

驕奢は大にしては國を傾け小にしては家を亡すは、昔より人の能く知る所なり。抑も驕奢は如何にして生ずるかと云ふに、其人の心機の發點は姑く措き、驕なる行爲は人工の美を消費すること多きによりて成立す、衣服に錦繡を裁ち家屋に金玉を鏤むるが如き、人工の美を盡さんとせば即ち奢となる。されば人工の美を愛するは奢に陷り易しと云ふも可ならんか。然れども人として美を愛せざるものなし。塵事に奔走し疲れたる心身を慰するは、美などの玩味に出るの外なかるべし。美なくば文明もなく人道もなきなり。

美は人生に缺く可からざれど、人工の美は奢に陷り易くて、延きては產を傾け身を亡ぼすの虞あり。されば如何にせば可ならんか。人工美に換ふるに天然美を以てせば奈何。天然の美は人工美の如く派手ならざれど、亦他の爭ひ能はざる妙あり。山水の景、田園の趣、若くは盆栽花卉の美は、到底人工美の企て及ぶ所にあらず。

都會に住める人殊に婦人は、人工美を玩ぶこと日々に甚だしく、衣服に裝飾に奢を極めんとする傾向年々盛なり。これ寔に一國經濟上憂ふべきことゝす。固より娛樂は人生に必要にて、絕對的にこれを禁ずるは不可能なれば、驕奢の弊なからしめん爲に、人工美に換ふるに天然美を以てせんことを望む。盆栽花卉の如きは自ら作るを得べければ、費用を要すること少なく、而して興味は津々たり。人或は都會は花卉を植うるの地なきを難ずれど、盆栽は言ふまでもなく花卉果樹の如きも、鉢に栽うるを得べければ、庭なくば家根の物干に於ても之を栽培するを得べし。何ぞ地なきを憂へん。[illegible]き家庭なれば、果樹蔬菜の類をも作らんことを望む。

作物を栽うるは農の技とて賤むが如きも、身體を健康にするに付之に優りたる娛樂なし。獨逸の女子園藝學校には多額の學費を費して就學する良家の婦人甚だ多し。これ人格を高くし健康を良くせんが爲に爭うて之に赴くなり。農業により人格を高めんとするは、頗る奇なるが如

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

きも、農業にては精神を高潔にする機會甚だ多し。蓋し農業は作物を相手とすれば自然自分の心も潔白となる。人間を相手とすれば此方信を守るも先方之に背くことありて、之がため他を虛僞者と恨むと同時に、自身も知らず〳〵の間に誠實の心を薄くするに至る。されど植物相手なればかゝることなく、植物は約束通りに春來れば花咲き秋に至れば實を結び曾て背信のことなし。故に植物相手の農業を營めば自ら之に感化せられて僞なき人となる。これ田園の業が人格を高くする所以なり。

天然の美を愛するは驕奢に陷る虞なく、身體を健康にし精神を高潔にする益あり。去れば世の婦人達は人工美を割愛して天然美を娛む習慣を作られんことを望む。

目下來遊中のゴルドン夫人を紹介す

愛國婦人會評議員　下田歌子

玆に御紹介いたしまするは、英國の貴婦人でゴルドン夫人の御話で御座います。既に新聞などで能く御存じのお方も澤山御座いませうが、尙念の爲に一言御話しいたしますれば、夫人は英國蘇格蘭の御産れで幼少の時から餘程學問に秀でられ、特に道德とか宗敎とか云ふ方の學問には、餘程御研究が深く居きました、現に先年死なれました處の、マクスミュラーと申す哲學の大家とは、餘程御懇親の間柄で御座います。其外何くれと學問にも技藝にも優れたお方で御座りまして、夫れで居て誠によく家庭を整理なされ、大勢の御子樣方から、家中の一切の事を少しの手落もない樣に整理されますのには、廣い英國にも澤山はあるまいと申される程で御座います。

今から十何年前のお話で御座いますが一度我日本においでになりまして、餘程日本の山川草木や、日本人の氣質風俗などがお氣に入つたと見えて、夫からは、英國でも有名な日本好きなお方で御座いまして、英國に居る日本の留學生や、其の他の人々で此のお方の御世話になつた者は澤山御座います、現に私なども其一人で、夫れはまう云ひ盡されぬ程の御厄介になつたので御座います、「英國に於ける日本の母」と誰いふとなしに此お方を呼ぶ樣になりました。英國に居らつしやる中にも日本の爲に種々の事業をなさいまして、近くは澤山の書物を日本にお送り下さつた事は、誰も知つて居る處で御座います。今度久しぶりで第二回の漫遊として支那を經て、八月末に日本にお上陸になりました。私は絕えて久しき母に逢つた樣な氣が致しますので御座います。折柄愛國婦人會記者より、同夫人の御話を求められました故、先頃の一席の御講話を其筆記中より一節を寫し取りてとりあへず御依賴に應ずる事としました。何れ他日又機を以て改めて本會の爲、特に御話を願ふことと致しませう。尙此方に種々の著述が御座りますが、中でも「周遊」と申す旅行記はまことに有名なもので之れが日英同盟の魁をしたのだとまで稱める人も御座います。其外「東洋の守院」と云ふのも餘程有名な書物で御座います。

故英國女皇ヴヰクトリア陛下に就いて

（ゴルドン夫人の談）

前世紀の初め頃に生れて、間もなく父を失つた、一人の憐れなる女子が御座いました。其母はケント公爵夫人で御座いました。この母君の嚴なる敎を受けてごく質素に育てられました。若し伯父上に世繼の御子がおありになりません場合には、此少女に來るべき帝位の運命を知らずに、少女は成長致しました。この少女は後には英國女皇ヴヰクトリア陛下と御成遊ばした御方で御座います。

扨この小い王女の前途の爲と云ふので、何も說明致しませずに、其王女に系圖を御目にかけることゝ致しました。此王女は其系圖を熱心に御覽に成ました、其責任の重大なるを御悟りになりまして、御愛らしき碧眼に淚をお浮べになりまして、御敎育掛の男爵夫人の手を御握りになつて、私は今迄存じませんでしたが、何故そなた達は、私に學課をよく學ぶやうにと望んで居るかを今悟りました──私はよく致しますと仰せられました。王冠を戴くべき運命を御悟りになりまして、かく御決心遊ばされましたのは、御齡十二の時で御座いました。

此王女は、我國の君主女皇ヴヰクトリア陛下とならせられて「私はよく致します」のこの高き御決心に御外れなく、御齡十九の年に御即位遊ばされてより六十年以上も博愛無窮の賢君として、我帝國を御治めになりました。この君は完全無缺の娘より良妻となり、九人の皇子女の賢母となり、憂愁の寡婦となり、親友初め親任の顧問官や大臣等よりも、御長壽遊ばしました。この君が生涯中にうけし悲痛の時にても、又國母となりて世をしろし民を憐れみ、國民と喜憂を共に遊ばされし時にても、又玉座に炎々として燃ゆる猛烈なる火焰中にても、常に肺肝に銘じたる格言、即ち少女の時の決心「私はよく致します」を御守になつて歷史上特筆大書すべき最も光彩ある長き御代に於て日々其を御表彰になつたので御座います。

今申しました格言は此所に御出ての極小い女子でも生涯自身の格言として服膺する事ができるのであります。

よくあれかし　愛らしき少女よ
才あるものよ　終日妄想に耽らずし
て貴きことをなせ──
かくて生死永遠不朽を
一つの偉大にして妙なる歌となせ。

英國總理大臣バルフォー氏は斯く申されました。僅の間に御病氣中に御親署をあふぐ國書が堆みかさなりて山をなしてあるを、崩御後に見出しまして、其の御手により遊された御勵精の程を悟り上て、恐れ多いことゝ感じました。

我女皇陛下は宮中、社會、國の御任務の間に、貧窮卑賤の伏屋を御訪ひになり、粗茶を共にめしあがりになり、又老人等には聖運を御聞かせになり、又バッキングハム宮城に開かれてありました日曜學校にては、召使等の子供等に御敎授になりました。

崩御數月前英杜戰爭の時には亞弗利加に於て奮戰してゐました我勇兵に就て御心を惱まされて、陛下にはドレー病院に成らせられて、負傷兵を御慰問になりました。其時に枕は軟かでなくて心地惡うてあるから、負傷兵には適せぬ故取換へる樣にとの御言葉で御座いまして、其後女皇は再び其病院に行幸あらせられた時に、少さい指を御擧げになッて、私の義兄に向て「ゴールドンさん、私の命令に拘はらず、先日申付て置た枕がまだ取換へずにあります」と仰せられました。

無數の民が今は「善きヴヰクトリア陛下」と呼び奉る眞の偉大なる賢君には、大小漏さず御心に御とめ遊ばされましたので御座います。

暗黑と呼ばるゝ亞弗利加の其の中央に貴女方の目を轉ぜられんことを望みます。スタンレーの大林の附近に奇異なる小人等は住んで居りまして「タロ」と申す王國が御座います、此國の母皇は我が博愛なる英國女皇の御姓に因みてヴヰクトリアと申し上るのでございます。この黑い女王は歐羅巴人の家で日本製の球すだれを御覽になりまして、御座の入口にはさういふ玉すだれをおかけになッて、喜んでおゐでになります。この女王は私が至愛の女皇に對して特別の愛と尊敬とを御持ちになッてをられまして『大白』女皇の物語を決して御飽き遊ばさらず、ヴヰクトリア女皇の英國民にあらはされた如くに、御自身もありたきものだと御望みになッてお出でした。

この『タロ』の土地に住居してゐました我が友フィッシャー夫人が文中に曰く『英國女皇陛下崩御の報が、私共に達しました時のこの國の女王始め上流社會の婦人達の憂愁悲歎を忘るゝことができません、これらの人々は直ちに、私共に同情を寄すべくまゐられて、暫し悲哀の感に打たれて、言語を發する事ができませんでしたが、やがて淚ながらに黑い女皇の仰せらるゝには、我友よ、貴女方が歎きは我歎なり。私共は私共の母を失うたり』げに高潔正義の治世が其感化を遠き亞弗利加迄及ぼして其國民の武勇と愛國心とを喚起せしめて、高尙なる目的に向ッて鼓舞したる事は、實に驚愕のとてあります。

この『タロ』の婦人達は賤卑の所より高まりつゝ彼等の生涯を麗はしくし、今は淸楚なる言語風俗を高尙にし、彼等の家屋又はよき耕作地なぞが見えます。それから、人民の間には幸福なる家屋の生活あり、諸所には駸々乎として進步の徵ありて勇氣勃々としてゐます。

淑女諸子よ願くば眼を中央亞弗利加より轉じて今日の歐洲諸國の玉座に着目して御覽なさい。英國の王位にはエドワード第七世が入つしやいます、この御方は貴女方が御存じの通り、ヴヰクトリア女皇の第一の親王が御座いまして「平和の創造者」なる稱を得ましたので御座います、何故と申ますに世界の主權者間の親交を溫め友情を高むる爲に盡力遊ばされ、而して世界の平和を維持する爲に萬國の爭鬪、競爭、誤解等を除去するに勉め遊ばされたからであります。

ヴヰクトリア女皇が第一の皇女ヴヰクトリア內親王殿下には母皇の薰陶を御受けになりて御齡十七といふ年に獨逸の皇太子の御許に入輿遊ばされました。この皇太子殿下には病床にてフレデリック皇帝と御成になりました。此皇帝の皇子即ち我英國女皇の皇孫殿下には今はウヰリアム第二世の皇帝となられて獨逸を治めて御出で御座います。それから不幸なる露國を見ますればヴヰクトリア陛下の最も愛らしき皇女アリス內親王の姬君アリックスには此國の皇后となッて入つしやいます。那威國の女皇、瑞典及び希臘の皇太子妃の御方々はヴヰクトリア陛下の皇孫で御座います、それからバルモラル城で御生れになつたユージェニー內親王殿下もさうで御座います、この御方は英國女皇の皇孫中で赫々たる日光のやうに麗はしい御方で御座います。西班牙の擾亂の玉座にたずさはるやうになりましたが、勝れたる御勇氣と麗はしき御氣質により西班牙國民の衆心を御ひきつけになつてをります、この陛下は偉大なる祖妣君を模範とするを最高の目的と遊ばしておゐでになります。

總て我英國の皇女方は快樂よりは義務を第一とする樣に敎訓を御受けになつてをりますから御家庭の訓練はすべての方面に於て麗はしく發揮してをりまする。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

理想的總菜

ひしこ卯花汁

神奈川　一會員寄稿

本紙前號に、食物の價高き今日に當り、總菜料理を研究して、滋養多くて原料の安い物を甘く料理するとが肝要であると、御示しがありましたのを拜讀し、誠に同感で御座います。私は料理の研究が好きて、平生心懸けては居りますが、中々上手に出來ませんが、先頃友人から敎はりました、赤堀峯翁の仕方といふ「ひしこ卯花汁」は、費用も少なく、味も美くそして滋養もあるかと考へます故、一寸書付けて差出します。編輯局で御批評を下さる樣願ひます。

先づ、ひしこいわしの新鮮なるを、指にて頭をとり、腸と骨とを去り、水にて洗ひ笊に入れて水氣をきり置きます。別に雪花菜を能く擂鉢にてすり、裏漉にかけ置きます。別に味噌をすり（味噌は赤、白何れにても好みに任せ）水にて濃き加減に伸し、鍋に入れ、火にかけて沸騰したる時けづりたる鰹節を入れ、是も裏漉にかけ、（二度も三度も揩つては漉します。）扨、裏漉したる雪花菜と味噌汁とを混合せ、沸騰せしめ、ひしこの湯引したるを此汁に入れ、ざつと煮て椀に盛り、別に松葉柚子とて、柚子の皮を、裏側の白き部を去り、薄くしたるを、松葉形に切り、水に晒し置きたるを加へて出すのであります。

右は料理專門家の仕方にて上品でありますから、一寸御客にも出されますが、家庭日常の總菜としては斯くまで手をかけずとも、略して可いので御座います。例へばひしこを湯引かずとも、或は骨を去らずとも、鰹節を入れずとも、柚子はへぎ柚子にても、さまで味は變りません。

編輯者曰「ひしこ」といふは「ひしこいわし」の略語にて、東京にては更に略して「しこ」と云ひます。鰯に似て小さきもので、別種だと申します。中國にては、此小さき方を普通鰯と稱へ、大きなるは丹後鰯と稱へる所もあると聞及びます。

此ひしこの分析は未だ見ませぬが、之を干した田作は、其七分迄蛋白質で二分が脂肪殘り一分が水分灰分などてありますから、其生魚も鰯と大抵同樣てあらうと思ひます。されば此料理はひしことといひ、味噌といひ、滋養分は十分てありませう。唯、雪花菜は、己に滋養多き豆腐を取つた糟ですから、殆んど滋養分はありません。併し之を能く揩つて漉せば豆の皮もこな〳〵になつて胃腸に停滯せぬてありませう。而して其價は極めて安く、其味は固より好不好に由るのてすが、多數の人は賞味するてありませう。尤も温い中に用ふべきて、冷めては腥くていけますまい。

要するに、價と味と養との三點とも都合能く、理想的總菜とも云はれるてありませう。

鰯の料理は普通鹽燒、煮肴、つみいれ位に過ぎざれども、ひしこ鰯に至つては此等の外に右の卯花汁も、酢漬の仕方もあります。左に酢漬の仕方を書添へませう。

ひしこを前の如く頭と骨と腸とを去り、洗ひて笊に入れ、水氣をきり、鹽をふり、酢に漬け置き、

雪花菜を細かに能く揩り、鍋に入れ、鷄卵を入れ、箸にて攪拌ぜながら煎り、さらに鰹節汁と砂糖と醤油とを入れて煎りつけ、これを大皿など平たき器に移して、煽ぎ冷し、是に前のひしこの酢漬を入れ、また生姜のせんに打ちたるを少しふりかけるのであります。

家庭簡易西洋料理法

英語專門櫻井女塾長　櫻井ちか子

SNOW PUDDING.

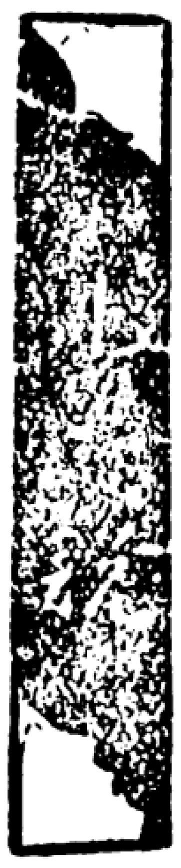
Three eggs, whites and yolks beaten separately. Into one pint of boiling water stir three table-spoonfuls of moistened cornstarch, and pinch of salt; when boiling whip in whites of eggs; mould in cups. The dressing is made of one cup sweet milk, onu cup sugar, butter size of an egg; let these come to boil, add yolks and flavor with vanilla.

（バタ）

三個の鷄卵を黄身と白身とを別々に分ち、先づ白身を泡立器を以て能く泡立たせ置き、別に食卓用の大なる匙に三杯の玉蜀黍の粉（コーンスターチ）を少量の水に溶き、三合程の湯の沸騰せる中へ入れながら絶えず攪き交ぜて葛湯樣のものを作り前に泡立てある白身を入れ直ちに火より下して鹽ひと撮みを入れ能く攪き混ぜ鉢に移し其儘冷し置くのです

其れにかけて食する汁は最初わかち置きたる卵の黄身を能くとき其に牛乳一カップ砂糖一カップ牛酪鷄卵程の大さを混じ攪き交ぜながら煮て沸騰せる後又別の鉢に入れ冷めたる時バニラ或はレモン少しを加へ香を付くるのです

食する時は白身を皿に入れ其の汁をかけるのです



天長節

堀内新泉

一

わが大君の國民たらんほどの者は、誰も皆一樣に笑顏に成つて、晩秋の美しい空に充滿つ瑞氣を仰ぎ、溢れるばかりの熱誠を以て、

「寶祚無窮、御代萬歲！」

を唱へ奉る天長節の夕方であつた。

フロックコートにシルクハットを頂いた年齡の比四十近くの立派な紳士が、或る旅館の一室を訪れて、

「多田さん、最うお歸りでしたか」

と障子越に聲をかけた。

すると忽ち裡面に人の氣合がして、

「オヽ川田さん、さあ何うか！只今戻つて參りました」

云ひ〳〵障子を啓けて迎へたのは、年齡の比三十七八の、これも亦立派な人品で、今上下共に同じ大島紬の和服に更着へたと云ふ所。

客は片手に帽子を持つて、

「御免下さい！」

と入つた室は十二疊の二階座敷で、結構な類に整頓し、床の間には白菊の香が微に動いて居る。婢來つて褥を配し、席定まれば主客互に一禮したが、主人やゝ後れて頭を上げ、

「今日は誠に結構な天長節でございまして」

「左樣でございます！市中一般非常な賑ひ、今日のお天氣は又格別でございましたな！」

「左樣でございます！私は丁度十年振りで、東京で天長節を致しまして、實に愉快でございました！さあ、まあ何うか御ゆツくり！」

「はい、有がたう！えゝ、今夕突然伺ひましたは、今度久方振でお目にかゝりましたから、今日の嘉辰に際し、貴下と實は晩餐を共にして頂きたいと存じまして、お尋ねを致しました次第でございますが」

「いや、それは私から是非お願ひを致したいと思ふ所でございます！」

客の眉宇には滿足の色動き、

「ぢやア、これから早速何方へか」

「はい、お供を致しましやう！」

二

隣り座敷に賑な三味の音を聞きながら、此方は靜に今酒を始めたばかりの二人の客、フロックコートを着た方は、目下某省の技師を勤めて、水産の事にかけては、非常に博い知識と實驗とを有つて居られる川田實氏、一人の和服を着て居る方は、近頃米國の加州から巨萬の富を齎した多田發作君。二人は米國で相知り相信じ、互に懇親を結んだ間で、日本で親しく會つたのは、今度が實に初めてである。

兩氏は今から五年前、米國で別れた後の事を語つて、今夜は互にゆツくり打解け、漸々盃を重ねる中に、「何うだ、お前も一杯やらんか」と女中に盃を向けるまで氣が面白く成つて來た川田氏は、こゝに始めて機會を得て、語遣もやゝ輕く成り、

「時に君は今日途中から、歸朝早々然も今日の嘉辰に際し、近頃實に快心の事があつたと云はれたが、何んな慶事があッたんです？」

「ハヽヽ、いや慶事でも何んでも無いですが、彼の時は少し精神か興奮しとつたので、思はず彼んな電話を君にかけて、實は後で大いに後悔したやうな面目次第も無い譯てす！」

「まあ、そんな事を云はれずと、有つた儘の話をしても可いでは無いか」

「いや、決して包み隱すと云ふ譯ではないが、アヽお互に實に幸福！淺い世の中には川田君、實に悽慘なる人事問題がありますぞ！」

「そりや最う十人十色の運命を有つて居る世の中、二頭立の馬車にお乘しになるお方も人、また日に三度の食物に窮取ることの出來ぬのも人！」

「左樣だ！等しく是れ人と云ふ上に於ては相違は無いが、その人々の運命の上に於いては、實に酷い懸隔のあるものだ！お話すれば、實は今日斯う云ふ譯なんです！」

三

多田發作氏は容を改め、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「今日はまあ十年振で本國、而も我が一天萬乘の君の座座この東京で天長節の嘉辰に接し奉る事が出來ると云ふ誠に喜ばしい譯なんて、早朝に起きて身を清め、アヽ上に寶祚無窮の君ましませばこそ我等臣民も其の業に安んずる事が出來るのだ！切ては畏みて丸の內に行き、瑞氣棚引く宮城を遙拜し、虎の門を出て麴町に廻り、或る一人の友を訪ねて見やうと思ひ、御堀に添うて參謀本部の前あたりまで行くと、向うから最うこの頃の寒さに迫つて、汚い黑白の單物を一枚着た、左樣さ、年齡の比二十八九、まだ三十までは成りさうにも無い一人の婦人が、今こそやつと齒の生えかけたと云ふ位の小兒を負ひ、いかにも憔悴れ、いかにも憂ひに沈んだ顏をして俯向き勝に遣つて來たが、不斗立止つて此方を見、凝然と思案に暮れて居る體。

其處に先ア我輩が遣つて行くと、右の婦人は近寄つて腰を屈め、

「少々物を承はりたうございますが、品川の方に參りますには何う參つたら宜しうございましやうか」

我輩は精しく道を敎へて遣り、一旦其儘別れやうとしたが、また立止つて一言かけた。

「品川は何の邊まで行きなさるか」

すると婦人の答は實以て案外至極！

「いえ、品川から舊東海道に出まして、遠州の掛川在まで歸るんでございます」

「歩いて？」

「はい」

「歩いて行くんですか」

おもはず聲を高めて再び問ふと、

「はい、歩いて參るんでございます」

それと聞いては、御承知の通り、苦勞性の我輩には、その儘に別れる譯には如何しても行かぬ！

「そりや勿論の事だ！我輩にしても」

と川田氏は盃を納め、

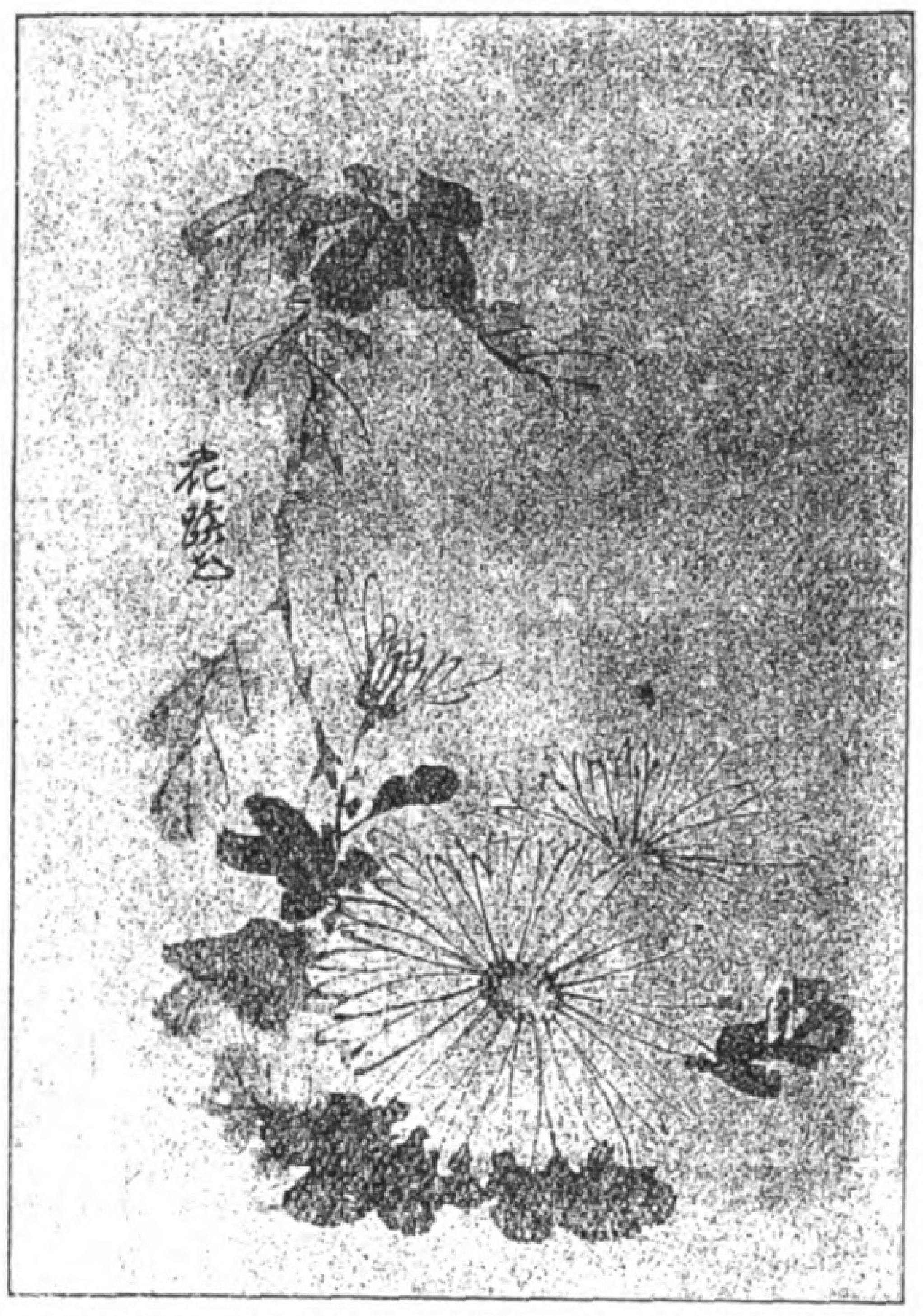
「それから君如何しました？」

四

「物好きなと云つて笑ふ人もあるか知らぬが、段々樣子を聞いて見ると、アヽ世には氣の毒な人もある！姐さん、まあ一杯注いでくれ」

多田氏は一口ぐいと引いて、

「その女と云ふのは遠州掛川在の者で、東京に出て下女奉公をして居る中、或る人の媒介で、今から七年ばかり前、細々ながら油屋を渡世にして居る男の所に嫁入し、夫婦共稼を營つて居る中、翌年一人の男の子が生れた。夫婦は喜び樂んで、二三年必死に成つて稼ぐ中、段々生活向も好く成つて來て、辛く表通に小い店を出し、さあ、まあ、これからだと云つて喜んで居る中、火災に罹つて家は全燒、仕方が無いので主人は人力車夫に爲り何うかして元の油屋に爲らうと樂んで居る中、また一人子供が殖えた。一家は四人口と成つては、車の梶棒一つでは中々生活に骨が折れる！でもまあ何うか斯うか遣つて行く中、今年の夏から連合は心臟病に罹り、今日では中々以て車を挽く所の話で無い。內儀さん一人で何んなに遣つて見た所で、所詮生活の立ちやうが無い。それでまあ飽きも飽かれもせぬ間を、貧故夫婦の緣を斷たれ、相談の上で愈よ夫婦別れをすることに爲り、內儀さんの方は乳兒を引取つて、今日遠州の親里に、僅二十五錢の旅費を持つて歸る事に爲り、夫の方は今年六つになる男の子の方を引取つて、身は難儀な病に罹りながら、これも亦夫婦の有らゆる財產を二つに分けた一方の二十五錢が其處邊の金を持ち、明日東京を立つて、その生れ故鄉は越後の高田在まで歸ると云ふ譯！何方を聞いても實に悲慘極まる話！」



「君、それで如何した？」

と川田氏は迫つて問ふ。

五

「それは先ア氣の毒なお話だ！夫婦別れをするにした所で、一方は病人の上に子供づれ、お前さんもその子を伴れて、女の纖弱い脚で、僅そればかりの旅費で、如何して遠州までも歸りなさる？兎に角まあ〳〵私と一緒に一旦後に歸りなさい！飽かぬ離別とあるからには、夫婦別別に成らずとも、何んとか好い工夫がありさうなものだ」

婦人は袖に淚を拭いて、

「有がたうございますが、その工夫と申しますのも今日では、盡き果てゝの上でございます！」

「でもあらうが兎に角一旦私の云ふ通りにして見なさい、何に世の中は狹いやうなもの、又廣いもの、此處で今日私と會つたのも何かの緣、全體お前さんの家は何處だ？」

「この夏あたりから四谷の鮫ヶ橋に住んで居ります」

と云ふ。それぢやと云ふので、通りかゝつた二輛の人力車を雇ひ、その一輛には母子を乘らせ、一輛には此方が乘つて、例の鮫ヶ橋に飛ばしたと云ふ譯さ、ハヽヽ」

「イヤ、それは何うも御苦勞でした！」

六

「さて愈よ行つて見ると、汚い木片葺の長屋の前に、古い白地の浴衣を着た六つばかりの男の子が悄々として立盡して居つたが、車の音に驚いたか、當方を向いて凝然と見る、枯魚の水を見たやうに忽ち尾鰭を振つて元氣附き、

「ア、お父ちやん、母やが車に乘つて歸つて來たよ」

「貴下此方でございます！」

と婦人は車を先づ下りて先に入る。續く此方の姿より最う行つて了つたと思つて居た妻を見て愕りしたものか、垢だらけの薄い布團の中から這ひ出して、

「ア、お峰、お前は如何して歸つて來た？」

と云つて其處に坐つたは、三十五六の中男、成程酷く憔悴れては居るが、別にそれ程貧相な顏附もして居らねば、また惡事抔は斷じて働きさうな男でも無い！

おもひ迫つたのか、婦人は暫く袖に顏を掩うて居つたが、辛く淚を止めて我輩に會つた話をすると、

「イヤ、それは何うも旦那樣！」

と云つた切、病人は膝に手を揉み二の句は出ぬ。其處で先ア我輩は親切に慰めて、ハヽ、大いに人生を說いた譯さ！」

「成程、それから？」

「イヤ、旦那さま、それぢや誠に相濟みませぬ！」

と夫婦口を揃へて云ふのを……」

「ふン！」

「終に氣の濟むやうに云つて聞せ、先づ身體を治すことを主に說き、最後に以前の油屋兼荒物店を出させる事にして遣ると、夫婦はまるで夢心地さ！」

川田氏は滿面にパッと笑の光を放ち、

「や、流石は君だ！そりや善く遣つてくれた！我輩も隨分な事はやるぞ！」

「有難う！だが、ね、君、彼んな白屋の內にも、夫婦、親子の情合は生々と住んで居て、我輩が愈よ其處まで話を纏めると、アヽ、これで、一旦別れた親子夫婦が、また同棲の喜びを受けることが出來るかと夫婦同時に思つたものか、凝然と顏を見合せたが、何方もホロ〳〵と淚を流し、

「旦那さま有難うございます！」

と云つて、我輩の前に手を突いた。それと同時に我輩は、實に人間至高の感に擊たれたね！」

川田氏は感歎し、

「左樣だらうとも！そりやまあ君は、今日は實に愉快な天長節をした！お陰さまで我輩まで！さあ、まあ一杯獻じやう！おい姐さん、お酌を賴むよ」

先刻から傍で聽いて居た女中は靜に淚を拭いて、多田氏に一杯お酌をし、

「まあ、その人達は、今日は何んなに喜んで居るでせうね！私はその夫婦の方の爲に喜びます！若し、今朝、その御婦人が、貴方さまのやうなお仁にお目にかゝらなかつたなら、矢張、私を見たやうに、可愛我が子に別れ、夫に離れ、こんな情ない身の上に成つたのかも知れませんが、まあ、その御婦人は前の世で、善々何か善い種でも蒔いて置いた爲でしやう！さも無い事には又善々盡きぬ夫婦の御緣と見えます！アヽ、それを思ふと私などは……」

意外な事を云ひ出して、女中は凝然と俯向いたが、紅淚潸々また仰ぎ得ず、二人の視線は一人に注ぐ。アヽ、世の中には、何處へ何んな悲哀が潜んで居るかも知れぬ。

（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

菊の榮

（皇室の今昔）

鏡川

▲年々歳々　天長の嘉節を迎ふると共に、皇運の日々に新なるを思ふて、無限の感荷に堪えぬのである。今上御宇四十年、其間社會萬般に渉りて、長足の進歩は、實に世界の歷史上に於ける一の奇蹟として、光輝を千萬歳の後に迄放つものである。回顧すれば僅かに四十年の昔であるが、今上登祚の初、一隻の軍艦をだに有しなかつた、我帝室（勿論徳川幕府にはあつたが）は、今や宝々四十萬噸の艨艟を以て、東亞の海を壓し、平和の保障となられて居る。後に左右禁衞の名はあつて、一點をだも有せられなかつた、我帝室は今や猛々たる十六師團、三十萬の貔貅を率ゐて、我一國と云はむよりは、寧ろ東洋の支持者となられて居る。否世界の權力の平衡（バランス）は、我國の向背によりて、決せらるゝと云ふも、全く不可はないのである。而して政治、而して教育、而して殖產、而して興業、苟も形而上下の事々物々、孰れか過去四十年と比較して、隔世の感のないものがあらうか。どう考へて見ても、今上の御宇に於ける、凡ての發達、進歩といふものは、超人間的であつて、英國のアルフレド、ステツトをして、奇しき神の裔なる聖の御代と、いはしめたることは決して偶然でないと思ふ。そこで不圖感じたのは此の

▲天長節　と申すのは、第四十九代光仁天皇の御代に、天皇の御生誕日を以て、祝日と定められ給ひしことに始まるのであるが、是は孝經に周書を引て、「一人有レ慶兆民頼レ之」とあるの趣旨よりして、陛下の御慶賀を天下に頒ち給ふたのである。扨この　天長節と云ふ祝日を、創め給ひし光仁天皇の御代と、今上の御宇とを比較し奉るに、頗る御似寄の點を發見せらるゝのである。まづ第一に

▲御即位前後の有様　は、如何であるかと申すに、光仁天皇は、天智天皇の皇子、施基皇子の第六の王子で、御父施基の皇子も、僅かに三品の宮様である、天皇は御名を白壁と申されたが、親王となり給はず、諸王に坐し、稱徳、淳仁の二帝に仕へて、大納言で御出でた、大納言と申すと、左右大臣の下である、勿論其御暮向の事など考へて見るに、當時時めきかけて居つた、藤原氏などとは、肩を比ぶる譯には參らず、微々たる御有様で、他日　帝冠の、御頭の上に被さりかゝるといふことは、毫も思召しにならざつたに、違いはない。然るに、天皇の御先代は孝謙天皇の御代で、佛法御信仰の結果とは申せ、始めに惠美押勝を御寵愛になり後には弓削道鏡を御信用遊ばされて、我皇祚の危きこと、宛ながら風前の燈と申す有様であつた、幸に和氣清麿の忠誠によりて、道鏡の奸謀は挫かれ、尋て天皇の崩御し給ふと共に、皇儲を議する一段となつた、右大臣吉備眞備を始め頗る異議を挾むものがあつて、容易に決せられなかつた、時に右大辨藤原百川は、兄良繼、及び從兄左大臣永手と密議して、天皇の遺詔など矯めて、白壁王（即ち光仁天皇）を皇儲に推し、宣命をなして、遺詔を朝廷に讀ましめた、「白壁王は年長にして、且つ功勞あり、故に立てゝ太子とす」と云ふの文句に至り眞備なども何とも申すことは出來ず、だまつて仕舞た、百川は即ち儀仗を整へて、白壁王を迎へ奉りて踐祚せしめた。かくて其年道鏡を下野に放ち、清麿を大隅國より召還して、朝廷の典型を正され、寶祚の動かざること泰山の如きに至た。

▲今上陛下　に於ては、正しく先皇の御實子、儲君であらせられ、光仁天皇が諸王より入て、皇統を紹がせ給ふたとは一様でないけれども、恐れながら、足利氏の中葉以後、朝廷の式微と申すものは、一通でなく、京師は應仁の兵燹に燒かれ、公卿は諸方に流離し、後土御門天皇崩御の時の如きは、御葬儀の費用がない爲めに、玉體を殯り奉ることが出來ず、黒戶御所に靈柩を止め給ふこと四十日、九月に崩御、十一月に至りて葬り奉つた。後柏原、後奈良の二帝に至りて、彌々非度く、正親町天皇の御時は、御即位の典さへ、擧ぐることが出來ず、內侍所の御神樂さへも、行ふことが出來ない有様となつた。そこで、毛利元就が、即位の費を獻じ、松永久秀が、內侍所の御神樂の料を獻じて、漸く其禮を擧げ、其費を修むることが出來たといふのである。かの褐衣を着たる商人が、餅を賣りに御所の階の下迄出入りをし、破れた御簾の間から、女官の入側を往來するを、窺ふたなど申すのは、此時で三條の橋から、御築地の破れを徹して、御所の御燈火の、ありくと拜まれたと申すものも、此の時である。正親町天皇の時天皇は、立入宗繼と云ふ者を勅使として、夫も公然ではなく、伊勢參宮といふことにして、尾張に遣され、織田信長に叡旨を傳へられ、上洛して皇居を守衞せしめられた。信長の勤王により、秀吉其跡を受け、續きて徳川氏天下を一統するに及びて、御所向の事も、凡て昔日とは餘程面目を改め、供御の料も稍饒かになつたがさりながら、幕府はどこ迄も、禁裡の名を重じ、實を抑ゆる方針を取り來つたものであるから、從ら御所の御暮向といふものは、一二萬石の、小大名にも劣つた有様であつた、それは安永の決議帖と唱へて、安永の頃、幕府から朝廷御使用の御品々に、夫々代價を定めて、何はいくら、何はいくらと、商人の手より朝廷に納めさしたものである。然るに、段々世が移るに隨て、直段は騰貴するけれども、定めた價額を上げないからして、腐つたや肴、餿た酒、醬油の類迄差し上る事になつた。夫はまた御儀式や何かで、宮中の事は、御仕來りが入ケ間敷からして、品目の繁雜ときまつたものだけは、揃えねばならぬからして、商人の方では、さうするより仕方がなくなつてくる。そこでこの品は、御箸を着け給ふてよろしい、この品は着け給ふべからずと、一々印を付けて、玉食を奉ると云ふ有様であつた。されば、朝夕の供御の如きも、極めて不十分で、故近衞篤麿公の祖父、近衞關白忠熙公の御許へ、先代孝明天皇より、尊公の所へ伊丹の知行所からうまい酒が參て居る相だが、一瓶給はらぬかといふ様な、御意味の宸翰が、近衞家に殘て居るとのことを、承はつたこともある。また安政の頃、故岩倉具視公が、此有様を見奉りて、如何にとも恐入るといふので、所司代酒井若狹守の用人、三浦七兵衛に、何とか仕様はないかと相談した所が、七兵衛は容易に信ぜない、そこで殿下の御酒と、御肴とを拜受して、竊かに七兵衛に給ふた所が、七兵衛試て見ると、到底口にするに忍びむといふ様に、腐敗して居るので、驚たと申す事である。かゝる例は、いくらもあるであらうけれども、徒らに忌憚を犯すの嫌があるから書くとして、先帝の御代まで、かゝる御有様であつたとすれば、光仁天皇が諸王より入て、大統を紹がせ給ふたと、今上が、實に何共申上様のないことであるけれども、一二萬石の大名よりも、御窮屈なる御境界より、寶祚を踐ませ給ふたとは、御同様である。次に國家の形勢は如何といふに、押勝や道鏡の様な、逆臣は無かつたけれども、文化、文政以降、所謂る黒船は近海に出沒し、嘉永癸丑の年に至り、米國は龐大なる軍艦を以て、外交貿易を我國に強要した。そこで朝議の議に從へ、朝廷と幕府との間に意見の衝突があり、幕府では朝旨を待たずして、外交を許した。かくて長州の暴發となり、征長の師となり、海內の人心は幕府を離れて、外國は動もすれば、其隙に乘せむとするに至つた。先帝深より非常の英主に坐まし、厚く國家を憂ひ給ふた事は、勿論であるけれども、先帝は其御心配の中に崩じ給ひ、國家の危きことは、山內侯の議を御採用になり、大恐懼なる慶喜將軍は、政を朝廷に返上した。去りながら、鳥羽、伏見の一挙となりて、朝幕の運命は、濛々たる砲烟の中に鎖ひて、妖氣一帶、東山、北陸の地を蔽して、關內の向背何とも見分けの付かない有様となつた。これより先き、有名なる小御所の會議は開かれ、今上聖算僅かに十六歳、公卿、侯伯を率ゐて、其會議に臨ませ給ひ、岩倉具視公は、岩倉村の隱居を出て、所謂大政復古の大號令を發布せられた。續て討幕の勅となり、鎮撫東上、總く鼎鳳に開きて、此の立派なる維新の大御代は現出した。

▲和氣清麿　の忠誠は、三條實美公父子の忠誠である、藤原百川の勇斷は、岩倉具視公の勇斷である、藤原良繼、紀古佐美、藤原宇合等の薦謀、律令は、即ち西郷、木戶、大久保、諸公の議定、輔翼の績と、よく似て居る、法均尼は先皇の御代に於ける、村岡、室町尼である、大政復古の大號令は、論も光仁御即位の宣命である。

▲光仁天皇　は英明の君で、また仁慈に富ませられた御方である。御治世十二年間、國內よく治まりて、まことに吹く風も、枝を鳴らさぬ御代であつた。然るに偶々國內の水害、暴風等に就ては、御身を責め給ひ、御謹愼、大赦等の詔が時々出て居る、左に一例として、天應元年の詔勅を掲げて見んに「以レ天爲レ大、則レ之者聖人、以レ民爲レ心、育レ之者仁后、朕以二寡薄一忝承二寶基一、無レ善二萬民一、空歷二一紀一、雖則忠澤鬱而不レ流、至懷安甫翻積、日慎二一日一、念レ茲在レ茲、比有司奏、伊勢齋宮、所レ見美雲、正合二大瑞一、彼神宮者、國家所鎮、自レ天應レ之、吉無レ不レ利、抑是朕之不德、非獨臻茲、云々」と。是は改元の詔であるが、謙光を以て有司に歸し、禍殃を以て御身に含み給ふの叡慮が躍如せらる。今上の御製「いにしへの文見るたびに思ふ哉、おのが治むる國はいかにと」と、並び誦して、感泣の外ない所である、第三には　光仁天皇の

▲東奧御征定の　御事蹟である。東奧の地は、久しく王化に霑はない、景行天皇の日本武尊をして、征伐し給へる以來、叛服常なく、元明天皇の御代に至りて、陸奧を割きて出羽國を置き、官司を設け、城塞を築き、鎭撫對策に意を盡させ給ふたけれども、其民の猖獗なは甚しく、暴をなすことが夥しかつた。然るに、光仁天皇の寶龜五年、蝦夷の入寇を討ち平げられ、同十一年より、天應元年にかけて、兵を遣はして蝦夷を討たしめられた。蝦夷征服の事は天皇の御子、桓武天皇の御代、坂上田村麿によりて大成せられたけれども、七八分まで成功せられたのは、この御代である。是を大きくすれば

▲朝鮮が事大　を常とし、或は支那により、或は我國により、其都度、我國が損害を被たことは、一通でなかつた。今上の御宇になつて、夫れが爲め、二度迄大國と戰爭せられて、終に隣邦朝鮮の不利を救ひ、保護權を確立せられたのに、よく似て居る。光仁天皇は御父子の間に、東奧征定の大事を仕遂げ給ふたが、今上は御一代に隣邦扶植の偉業をさへ成就せられた。稀しく天長の嘉節にあたり、忍ひ當るまゝ、古今の事ども、書き續けて、瀆聽の無禮を祝し奉る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

短文

わかよ　一等

評　群馬　伏島たき子

晝のうちに味噌麹ふかしたて、つかのまの暇あらざりき。夜こそは書をよまめと一度は思ひしが、下男どもは板敷に蓆をしきて縄をなひ、はしためは燈火のもとにて雜巾さしに餘念なきなかに、おのれのみ氣樂らしう机に向はんは何とならう心苦しければ、夫の破足袋取り出しつくろふほど、はや皆の者は夜の仕事を終へて火桶をかこみ澁茶すゝりながらの浮世噺樂しげなり。さまたげせんも心なしと、針箱片づけ一間に入れば、この半月ばかりよそに過しつる机の上に、しをりをはさみたるまゝの書、われをまちがほなる嬉しうて、やがておしひらきぬ。あはれこれよりはわが世、いで心のまゝにいそしまん。

評　主婦としての心掛いとゆかし

慈姑　二等

福井　蓑輪貞子

稚子を晝寢せさせんと横になりしに、何時しかまどろみつ、驚きて時計を見ればはや夫の君のかへりますべき時刻なり。あな心なきことをしつとおき出づれば、夫の居間は美しく掃き清められ、釜の湯さへ沸りてあるに、さては母上の遊ばしことか、申譯なやと恐る〳〵御氣色うかゞへば、母上は御顔にこやかに、朝は早し、夜は子供に起され、疲れつらんと思ひ、わざと靜にせし業ぞ、惡しくな思ひそ、今にあるじも歸らんに、慈姑のふくめ煮にてもつくりて待受けよと仰せらるゝ勿體なさ、身に餘り涙さへさしぐまれて木の葉散りしく小さき庭のながめさへ花美しく咲きみてるのどけき春のこゝちせられてなん。

評「春風のふくこゝちしてのどけさはむつましき家のまとゐなりけり」とよまれし人の歌さへ思出られてゆかしき家庭のさまにこそ。

運命

三河　市川はな子

一腹に犬が五つ兒を産みました。一匹の兒は學校の先生に貰はれ、令息の名の馭手をそのまゝ手とよばれて、日日魚肉に飽いて居ます。一匹は醫者の家に貰はれ、ちやうといふ名を頂戴して毎日牛乳に浸ッて居ます。他の一匹は料理屋に、一匹は肉屋に貰はれ、熊、八、と名づけられて魚鳥に飽いて居ます。殘つた一匹はまだ名もない母の乳に肥えて居ます、何の兒が一番幸福でせう。

紅葉

東京　杉中春子

秋の夜長の徒然なるまゝ、古き日記取り出しつゝ、ひもとけば、机上に散りし紅葉二葉、思ひ起す去年の秋、初めて夫の君のみ供して、音羽護國寺のそゞろありきにつみて賜ひし護國寺の紅葉。やがて來ん年の秋は、此紅葉にも似たる愛らしの手に、夜毎々々の筆のすさびも、妨げられなんと思へば、そゞろにほゝ笑まれつ。

和歌　紅葉

大口鯛二大人選

日　薔薇の花眞白にさける山里の夕日に匂ふはじもみぢ哉　山口　末田眞節子

評日　山郷晩秋の景趣睹るが如し

月　立ちのぼる霧のたえまにみゆる哉夕日にゝほふ峰のもみぢば　福島　箕田よしの

評日　實景より寫出てられたる様見えていと新し

星　片岡の松のこずゑにうるはしくみゆるは蔦の葉なるらん　愛知　下郷きみ子

評日　各評會の紛議を賦せざるは口惜しけれど

秀逸

落栗を拾ひてかへるうなゐ子のかざすもみぢのうるはしき哉　三河　山内經子

むら時雨晴めくりして匂つらむのこるかたなき峯の紅葉　山口　末田竹子

わかれますゆふ日まほゆき水の上にふたひら三ひら紅葉ちるなり　東京　清岡弘子

またうすき情はあれとみれも居も秋にはもれぬもみぢ葉のいろ　三重　南部種子

身もあしもつかれはてたるやまみちになほすてかたき初もみぢかな　神奈川　永野淑子

高とのまとおしひらきまらうどにほこりて見する庭の紅葉は　京都　渡邊登子

山とほきみやこの友に見せまほしそめつくしたるみねの紅葉　大阪　大谷たか子

なつかしきいろみせてけり我庭のつたもかへでも櫻もみちして　大阪　佐野鳳子

ときは木にかゝれる蔦も紅葉してうつくしきかなあきの山路は　兵庫　頭弁鳳子

織り行く紅葉の色のいろ〳〵になかめぞあかぬ汽車の山みち　青森　笹田正野子

秋もやゝ深くなりゆくほどみえて山てふ山はもみぢしにけり　京都　山本千代子

野も山もからくれなゐにいろどりて我住里は紅葉しにけり　石川　小坂夏子

美しきこの初紅葉さゝぬに染てきする子ほしとおもはるゝかな　福井　蓑輪貞子

暇を得て今日の一日を紅葉狩みやこの塵を捨て歸らん　東京　櫻田しげ子

うす霧のはれゆくみねのもみぢばのにしきは春の花にまされり　三重　藤戸つれ子

思ふどち茸狩をしてはからずもひともと紅葉見いでつる哉　鹿兒島　藤野綾子

茸狩のかへるさによるわか友に折りそへてやる庭の紅葉　福岡　松村すか子

ときはなる松にまじりてあらし山紅葉のいろのさやかなるかな　神奈川　鈴木まつ子

ふとら山しつまる時のみすさびかけにたゝならぬもみぢ葉の色　京都　花輪よしの

ふりはへてきませる友とかたりつゝ庭のもみぢを見るぞたのしき　山形　岡崎さゐ子

雨はれて夕日かゝやく紅葉のぬれたるいろの美しきかな　青森　田島正子

つくろはぬわら家の軒の柿紅葉も人目にかゝる葛もみぢかな　東京　大島春子

あくがれてなほ山深く尋ね來ぬ渓しやいづこ峰の紅葉　岡　土師りれ子

いずのなくちんしゆの森に夕日さしてほのかに匂ふつたの紅葉　静岡　彦坂清子

二葉三葉紅葉こぼれし水鉢を小鳥のかげのつと掠め行く　岡山　坂田清子

花よとてもろ手に受つるうなゐ子の袖にも散れる庭の紅葉　静岡　鈴木根子

うすくこく紅葉そめ出す昨日今日我ふるさとのにはほこひしき　愛知　木俣うめ子

錦織す庭のもみぢをうからやからめづる今日こそ樂しかりけれ　愛知　石川順子

（歌員過多のため甲以下は略之）

俳句　冬季雜題

內藤鳴雪大人選

天　松葉掻く山賑はしき小春哉　山形　阿部さゐ子

地　寒月の下に墨する硯かな　岡山　坂田元子

人　冬の月伊勢が古家をてらしけり　愛知　長谷いく

○

いざとはん紅葉の中の乳母か家

風に翻れてとけて柔柳

一册の畫帖をもやりて冬籠

來る客は皆法師なり納豆汁

寒夜々踏み脱ぎし子を著せ踊る

朝さむや紙すいて居る少女共

初冬のまだはりかへぬ障子哉

小春日の一輪さしに返り花

夜泊して夢路に遠き千鳥哉

村の灯はきえて野道の夜寒哉

岡山　清水うめ子　三重　莊司種子　三重　西山ひさ子　紀伊　西山數子　紀伊　西山きよし　青森　田島正子　東京　栗原花園　仙臺　藤木冬子　岡山　西村てふ子

廣告

化粧界空前の大革命

日本婦人は未だ文明の化粧法を知らず煉白粉は舊時代の遺物なり

文明の化粧法とは如何なる物ぞ

美人とは顔の道具がよく揃て居る人の事を云ふのでつまり自然的の化粧が行届て居る顔を美人と申升ので必ずしも愛らしいやさしい顔のみが美人と云ふのではありません本來ならば白粉を用ひないで天然の色を發揮出來れば夫れに越した方法はないのですが夫れは言ふ可くして到底行はれない事でありますがさて今迄の日本婦人の化粧法即ち煉白粉や水白粉を自分の肌の色合の如何にかゝわらず無雜作に塗り立てゝある人はコッテリと人形のごとく又ある人は處々に「ムラ」や「白粉ハゲ」等の不體裁を作つてむしろ素顔の方が餘程見好かつたりする様な化粧法ではとても満足なる結果が得られない許りでなく斯くの如き幼稚なる化粧は實に文明國の恥辱であります然らば如何なる風に化粧をしたなれば自然の化粧をなし且つ文明の化粧法として誇る事が出來るかと申しますと夫れは從來の煉白粉や水白粉を全廢して其れに代る可きクリームと粉白粉を常用するので御座います然しクリームと申しましても在來日本にある所謂クリームの名の許に隱れたるクリームと稱する一種の粗製品や日本人の皮膚とは根本に於て異ふ處の西洋人の使用するクリームでは到底十分なる満足を得る事が出來ません爰に於て化粧に關する専門大家を煩し幾多の研究を經て漸く學理上最も完全なるクリームとプードル「粉白粉」を製出致しまして名附てクリームローヤル及プードルローヤルと申します

クリームローヤルは純粹の佛國式クリームの長所と短所とを取捨まして之に獨特の新原料を加へ我國人の肌の色によく釣合ふばかりでなく皮膚に非常の營養を與へ驚く可程キメを濃かにし「ヒヾ」や「アレ」を治する等多くの特色が有ります故單に白粉下に用ゆるの外一般の化粧用として最も完全にして最も進歩した逸品と斷言致します尚本品は在來のクリームの如く多くの脂肪分を含みませぬ故「ベタ〳〵」する憂はありません

プードルローヤル（粉白粉）は今迄日本では全く例のない粉白粉にして之に附屬する「ポット」「ハケ」を以てクリームローヤルの塗りし顔面に打粉をなす時は自然の色合は高尚に保ち且つ優美此の上なく即ち錦上更に花を添える思あらしむるのです論より證據一日も早く兩品を御使用の程を希望致します

定價は兩品共一個金五十錢づゝ郵送料は十二錢發賣元は東京銀座一丁目ローヤル水本舗佐々木商店にして販賣店は全國到る處の洋品小間物化粧品賣藥店に在り升

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第六十 文苑
和歌 ひぐれ 大口鯛二選 締切十一月廿日
俳句 冬季雜題 内藤鳴雪選 發表十二月五日

一森式座椅子

特許第九〇二〇號

△本品は一個にして座椅子となり寢臺となり疊み込めば縮少して携帶に便なり
△本品の特色は織物と螺旋枕とにて身體を支ふるにより心地誠に宜しく老人、姙婦、各種病人に慰安を與ふるにあり

價格

上等エナメル塗更紗蒲團付キ　金六圓五十錢　以上各種
上等エナメル塗メリンス友禪蒲團付キ　金七圓五十錢　以上各種
最上等エナメル塗唐草蒔繪
最上等友禪縮緬蒲團付キ　金十八圓　以上各種

製造發賣元　東京市芝區下高輪町廿一番地東禪寺電車停留所前（電新橋三〇六五）　樂民堂
關西一手販賣　大阪市西區土佐堀裏町六十八番屋敷（電話長一八二三）　常盤商會
特約販賣店　東京 大阪　三越呉服店

（本品は高輪電車停留所前◉東京日々新聞社前◉三越呉服店ニ陳列ス）

完全無缺の優等香油

宮内省侍醫局製藥所試驗濟
毛髮の滋養に富み且つ衛生に適し芳香優美の完全せる優等香油なり
紳士貴婦人令孃御愛用好評

白椿製優等香油　しら井油　定價 大金四拾錢 小金廿五錢
精良香油　新つばき　定價 大金廿五錢 小金十五錢

發賣本舖　東京 京橋 桶町　白井椿堂
關西代理店　大阪 大阪　大原三光堂

十月一日より

一、第十四回新柄陳列會開催
一、懸賞裾模樣圖案展覽
一、寄せ切れ見切り反物大賣出し

尚は呉服物の外各種類の日用商品を一層澤山に取揃へ何れも最新流行の物相撰み陳列仕り寫眞場及食堂をも取設け置候間御遊覽被成下候樣偏に奉願上候

「デパアトメント、ストーア」の元祖

東京日本橋駿河町

三越呉服店

（振替貯金口座參〇〇番）

本月發行の當店雜誌（時好）には新懸賞廣告あり御一讀を乞ふ

東京勸業博覽會二等賞牌受領

○○○都足袋ハ曩ニ農商務省ニ出願シテ登錄商標専用ヲ得タル物ナリ
都足袋ハ外觀優雅ニシテ都人粹士ノ歡迎ヲ受ケツヽアリ
都足袋ハ踵ニ縫目ナク衣服ノ裾ヲ傷フコナシ

都足袋

○○都足袋ハ製作ニ至大ノ注意ヲ拂ヘリ故ニ履具合良好縫目破綻ノ憂ナシ
都足袋ハ材料ノ撰擇ニ周到ニシテ經濟上決シテ劣ラザル効力ヲ有セリ

三重足袋

○三重足袋君カ益ハ甲三重底三重ナルヲ以テ優ニ二足分ノ耐力ヲ有セリ
○三重足袋君カ益ハ甲三重底三重ナルヲ以テ脂肪ノ滲出ヲ遮ギリ體温ヲ保ツノ特長アリ

白羽二重絹綿足袋

○本品ハ高等服裝ノ際ニハ最モ必要ニシテ殊ニ交際場裡且ハ婚姻盛典ヲ擧ゲラルヽ時抔ニハ本品ニ頼ラザレバ華美ナ盛裝ニ缺點ノ譏アル耳ナラズ貴重ナル衣服ノ裾ヲ傷フコアル可シ

各種足袋調製所　東京日本橋通リ室町三丁目
龜屋　宮内清兵衛
電話本局一七二 略電カメヤ又カ

御注文品地方は代金引替郵便小包拾足以上送料自店持にて御送附可仕候

正誤

前號及前々號御注文品御送附云々の欄中五足以上送費自店持とあるは拾足以上の誤植に附此段訂正候也
（一字訂正五を拾に）

半襟は 赤のれん

本店 神田區表神保町 電本二八五三
出店 新橋博品館階上

限ル

めりんす友仙
新形太物品々
東京日本橋区人形町通り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

◉菊池初子孃の名譽　東京市撰出貴族院議員菊池長四郎氏の令孫初子（長四郎氏の子息晋二氏の長女）はかねて學術も優等にして淑良の聞えありしが本年女子高等師範學校附屬高等女學校を卒業したる後は音樂其他の女藝を修め居たりしが此度麻布御用邸に在ます富美宮泰宮兩内親王殿下の御附侍女を命ぜられたり本人の名譽のみならずして一族の繁榮と光輝と共にめでたき限りといふべし。

◉健氣なる三人姉妹　家貧うして孝子出て學資乏しき處に篤學の子あり愧ぢて死すべきは富裕の家に生れし子弟なり淺草千束町一丁目百六十三番地に僅か四疊半一間の家に住める鈴木とめ（四十二）といへる寡婦あり夫の木挽職八三郎が昨年病死の後はりう（十六）なみ（十四）なか（十二）つね（八）金太郎（五）はつ（二）この七人暮しにて家計極めて困難なる中よりなみりうの姉妹は平生の學問好より下谷高年町の特殊小學校夜學第四年に通學し居れるが同家一箇月の生活費は一圓八十錢の家賃の外少なくも十二三圓を要すれども死より貯蓄のあるにもあらねば母子の苦心一方ならず長女りう（同人も曾て万年小學校の生徒にて本年三月卒業す）及なみなかの三人姉妹は下谷區下車坂町なる松島パイプ工場に通勤し母とめは乳呑子を抱きて玩具の内職をなし辛じて糊口を支へ來りしが斯る悲慘の間にもりうなみ、なかの三人兄弟は毎夜學校に通ふを唯一の樂みとなし一日勞働して疲れ果てたるを自ら勵まして必ず學校に通學し朝は夙くより工場に勤め三人の勞銀が其の月の糊口を支ふるだけになれば安心して夜學に通ふが常にて假令仕事の都合にて十分二十分位の遲刻はあるとも學校には一夜も缺席せし事なく殊に過般の洪水の時の如きも千束町界隈の浸水夥しかりしも姉妹は毎日工場に勤めて他人よりは一厘一毛の合力に預らず又學校をも缺席せず通學せるより學校にても此姉妹等をこそ實に生徒の模範なりと賞揚し是迄にも度々表彰せし事ありといふ尚ほ彼等が一箇月に得る收入と支出との概略を聞くに次の如し

收入		支出	
六圓	姉りうが一箇月の收入	一圓八十錢	家賃
九圓弱	なかなみ姉妹の收入	十圓内外	生活費
二圓位	母子の内職（玩具）		他は雜費及不時の用意

位にて母子の内職して得る收入を以つて家賃に充てりうなみの收入を以つて生活費としなかの收入は不時の準備金及雜費として各々責任を以て相當の額を得ざる可らざる事となし居れりと芳ばしき香を今日此の如き家庭に聞くこそ嬉しけれ。

●世界異聞

▲六十年間の辯護士　倫敦の辯護士アーサーバロース氏は去る八月廿六日を以て九十五歳の誕辰を迎へたるが氏は千八百六十七年即ち故ヴイクトリア女皇即位の年に辯護士となり爾來今日まで六十年間其職に從事せるものにて英國の辯護士中最年長者なりと云ふ氏は遠き方に居宅を有し毎週二三回倫敦の事務所に來るを例とし停車場より事務所までは絶えず徒歩にて往來し曾て馬車に乘りたることなく健康は今尚矍鑠たる由なり

▲十二年間の浴槽生活　去月英國のブランスウイック國立病院にて死亡したるフアーザナンドシユリンムと云ふ患者は既往十二年間不隨なる狀態にて生存したるものなり此男は煉瓦の職工なりしが千八百九十四年高所より墜落して脊梁骨を折り身體の下部は骨髓に至るまで悉く損傷を受け醫師は到底生命を保つ能はずと診斷したるも不思議に異狀なく只苦痛のため寢牀の中に横臥すること能はざるのみなるより同病院に入院せしめ微温湯の中に半身を入れ帶皮を以て身體を支持することとし其微温湯は絶えず新鮮なるものと交換し斯くして生活せしむることとしたるに患者は毫も苦痛を感ぜず爾來此生活に慣れ半身湯槽の中に在りて讀物及び木彫等を日々の業務となし之に依り得たる金にて老母を養ひ居たるが終に肺病に罹り同病院に入りたる以來十二年を經て死亡したるなりと

▲樂器の最大需要地　歐洲諸國より最も多く樂器を輸入する土地は英領南阿非利加にして毎年の樂器輸入額二百萬圓を下らず其中百萬圓はピアノなりと云ふ

▲五千五百萬の車　去月英國議會に於て乘合馬車、客待馬車及び自動車取締規則が問題に上りたる際政府委員の説明したる所に據れば昨年間に倫敦のリヴアープール街停車場を通過したる此種の車輛の數は五千五百萬一日平均一萬六千百餘輛の割合にて恐らく世界に於て最も多く車輛の通過なるべしと云ふ

▲英皇帝治下の國民　英皇帝の領土内に住する回教徒の數は土耳古治下に於けるよりも多く猶太人の數はペルシヤに住するものより多く黑奴の數は阿非利加の孰れの王國に於けるよりも多しと

カメリヤ洗粉

新製罐入一個に付　定價金十三錢

美貌は婦人の生命なり

と或學者は唱へたり、獨り婦人のみならず美貌は人生最大の幸福にして何人も望む所……如何にせば美貌たるを得るか

カメリヤ洗粉は最近の學理に基き皮膚に特効ある劑料を配合し所謂美身術に適せる最新の化粧料なれば日やけを防ぎ色を白くし艶を增し肌を滑かならしむる特質を備ふるが故に夏期の化粧料として缺くべからざるものなり殊に婦人小兒の如き軟き肌には効顯最も著し

●美術罐入發賣……最も多く價廉にして携帶上頗る便なり

發賣元　ライオン齒磨本舖　小林富次郎　日本東京、大阪　淸國天津、漢口、上海

大俵炭　大德用

山出シノ儘叺入堅炭、土釜、切炭、壹俵八拾貫目内外入

目方ウリ　市内ハ無賃配達

戸塚商店　（電話本局三二〇八）　神田三崎川岸

●確實製造大販賣　卸小賣

●夜具蒲團　蚊帳　ざぶとん

●上等並等澤山あり◉御好次第山の如し街鐵も外濠線も小川町東明館前に下車を乞ふ

諸官省御用　蒲團大王商

東京神田區表神保町二　矢田本店　電話本局（長）二〇一八

小川町南明館勸業場内　矢田支店　綿質保險附

家庭向婦人用

シンガーミシン

減價　月賦販賣　更に特廉即金賣

ミシンガ和服に適せぬなど〻云ふ小言は最早過去の噂言となりました、これは新式シンガーミシンが家庭に盛に用ゐらる〻からでありますて、何時迄も指先仕事にばかりこだわつて居な、時勢遲れの誹りを受くるのは、殘念な次第ではありませんか。

京價市内　無報酬出張教授

明細書　御申越次第無代送呈す▲從來の普通賣買法も其儘繼續

シンガー裁縫機械會社東京支店　京橋區銀座三丁目

日本第一の大勸業場

東京新橋角　帝國博品館　電話新ばシ二六五二　二六八二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

冬物大賣出し

十一月一日より冬物大賣出し仕候

豫て御高評を博したる店内裝置の奈良朝。藤原氏。豐臣氏。德川氏。今樣の風俗參考人形は引續き存置致置候

よせぎれ　見切反物日々澤山取揃へ置申候

東京日本橋

白木屋呉服洋服店

電話本局(八一、八二、八三、六七〇　長四七五、長九三〇)

大日本女學會

新學期開始　會員募集

本會は伏見宮博恭王妃殿下を總裁に奉戴し鍋島侯爵夫人會長として會務を統べ十三年來通信教授に由りて四萬人の會員に女子必須の諸學科を自修せしめたり●本會は女學通信教授の鼻祖にして其基礎の確實なると講義錄の有益多趣なると夙に世の定評ある所也●會費は普通科一個月金貳拾五錢高等科同金五拾錢入會金不要

東京青山原宿　大日本女學會　電話新橋一八三〇　振替貯金一一八三六

羽織紐特價發賣

純良絹絲

創業滿廿五年ノ御祝儀トシテ當年ノ新製品中ヨリ三種ヲ選定シ一種一五千個ヲ限リ空前ノ低價ニテ發賣仕候……

紳士用　撚リ返總付キ　丸打長結　定價壹圓七十錢　特價壹圓四拾錢

紳士用　同　籠打中長結　定價八十五錢　特價七拾二錢

淑女用　同流行形　蝶結　定價五十五錢　特價四拾三錢

地方ヨリ御注文ハ御送金ノ節別ニ小包料八錢(五個以下)ヲ要ス

送品ハ御送金到着順ニ依リ御送呈可仕候　振替貯金口座一一八六五番

東京市日本橋區芳町　佐竹組糸舖　電話浪花長一五六

醫院案內

神田區西今川町三番地(電話本局三〇一九)

內科病特に腦脊髓神經疾患

院長　ドクトル・メヂチーネ　峰秀世

峰內科醫院

午前宅診午後往診　入院隨時

內山小兒科醫院

淺草區下平右衛門町十七番地　柳橋通り(電下一三六五)

小兒病診療　宅診午前　往診午後

淺草區福井町貳番地

醫學士　內田愼太郎　●電話下谷七一八番

院長　醫學士　鳥山南壽次郎

鳥山內科院

午前診察　午後往診

京橋區鎗屋町十一番地　電話新橋千七百四十六番

岩佐病院　日本橋區蠣殼町二町目廿三番地(電話浪花八九七番)

診察時間　自午前九時至正十二時

內科婦人科　院主　岩佐純

內科　院長　ドクトル　岩佐新

(獨乙留學中)　副院長　醫學士　高田壽

外科　醫學士　山村正雄

產科婦人科　醫學士　西村漸

腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

腦病脊髓病

●午前　自宅　神田多町壹ノ八

●午後　岩佐病院　日本橋區蠣殼町

神經衰弱、ヒステリー、中風癲癇

神經痛運動障害等

醫學博士　土田卯三郎

內科一般

東京神田美土代町三丁目十九番地

午前宅診　午後往診

板垣亨

電話本局貳千九百七十番

產科婦人科專門

診察每日午前　入院隨時

淺草區左衛門河岸　電話下谷一〇二八

岩田病院

婦人病專門

芝明舟町十九虎門外宮　様前電話新橋三三二四

院長　櫻井克巳

櫻井醫院

◯院長　ドクトル　木村順吉

京橋卅間堀一丁目角(電話新橋二六七〇番)

婦人科產科　木村病院

水原產科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千八〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

齒科治療

ドクトル　齋藤淸太郎

麴町有樂町帝國ホテル向(電本千五百十九)

產科婦人科專門

ドクトル　樋口

蘭國留學歸朝後於本院診療に從事す

各科診察從前の通

芝愛宕町　東京病院

電話新二二六四　同二二六二〇

內科小兒科生殖器科

●新式鬱血療法　腫物、炎症部ニ應用切ラズ、痛マズ速治ス(入院隨時)

牛込區ダンス町　電番三三一八八

河村　生春堂醫院

助膜、胃腸、腎臟、腦病

官能內科醫院

體格檢査　(官公私立學校及檢定受驗者)

神田錦町正則英語學校前　(電本二二五六)

◉◉婦人科小兒科專門

午前宅診　午後往診

東京市麴町區飯田町四丁目九

女醫　鷲山彌生

院長　醫學博士　榊順次郎　婦人科產科每日午前診察

副　醫學士　久保徳太郎　婦人科外科留學中的外科

副　醫學士　田代謹二　婦人生殖器病及泌尿器內科午後診察

●施診火木土曜日午後一時至二時　一般科火木土午後診察

婦人科產科

榊病院

麴町區三番町三三(電話番町三九五)

增築落成

產科婦人科

東京日本橋區濱町三丁目七番地

楠田病院

小兒科專門

瘰癧症(腺病)　小兒貧血症、結核性腹膜炎、腹水、(脹滿、脾疳)小兒皮膚病、百日咳、

小兒ノ虛弱體質ハ前記ノ症ニ罹リ易ク動スレバ不治ニ陷ル余ハ獨逸留學中研究セシ體質强壯法ヲ以テ斯病ノ豫防及ヒ治療ヲ施ス

ドクトル　メヂチーネ

長井岩雄

東京日本橋區數寄屋町一、(電本百八十)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市麴町區錢瓶町（常磐橋内）

日本興業銀行

電話本局　一、二八〇番　三、三〇〇番　四一番　（特）三七番　一〇二番

資本金壹千七百五拾萬圓

營業科目

一擔保附社債に關する信託業務
一有價證劵其他貴重品等の保護預
一有價證劵の賣買元利金の支拂及び取立
一地方債、社債、株式等の發行募集事務
一各種の信託事務
一國債證劵、地方債證劵、社債劵、株劵の擔保貸付及手形の割引
一國債證劵、地方債證劵、社債劵の募集又は引受
一法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一定期預金、特別當座預金

東京市日本橋區通一丁目

合名會社　森村銀行

電話（特）本局六七三番　電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月以上　年五分五厘
當座預金　百圓に付日歩　八厘
小口當座預金　同日歩　壹錢壹厘

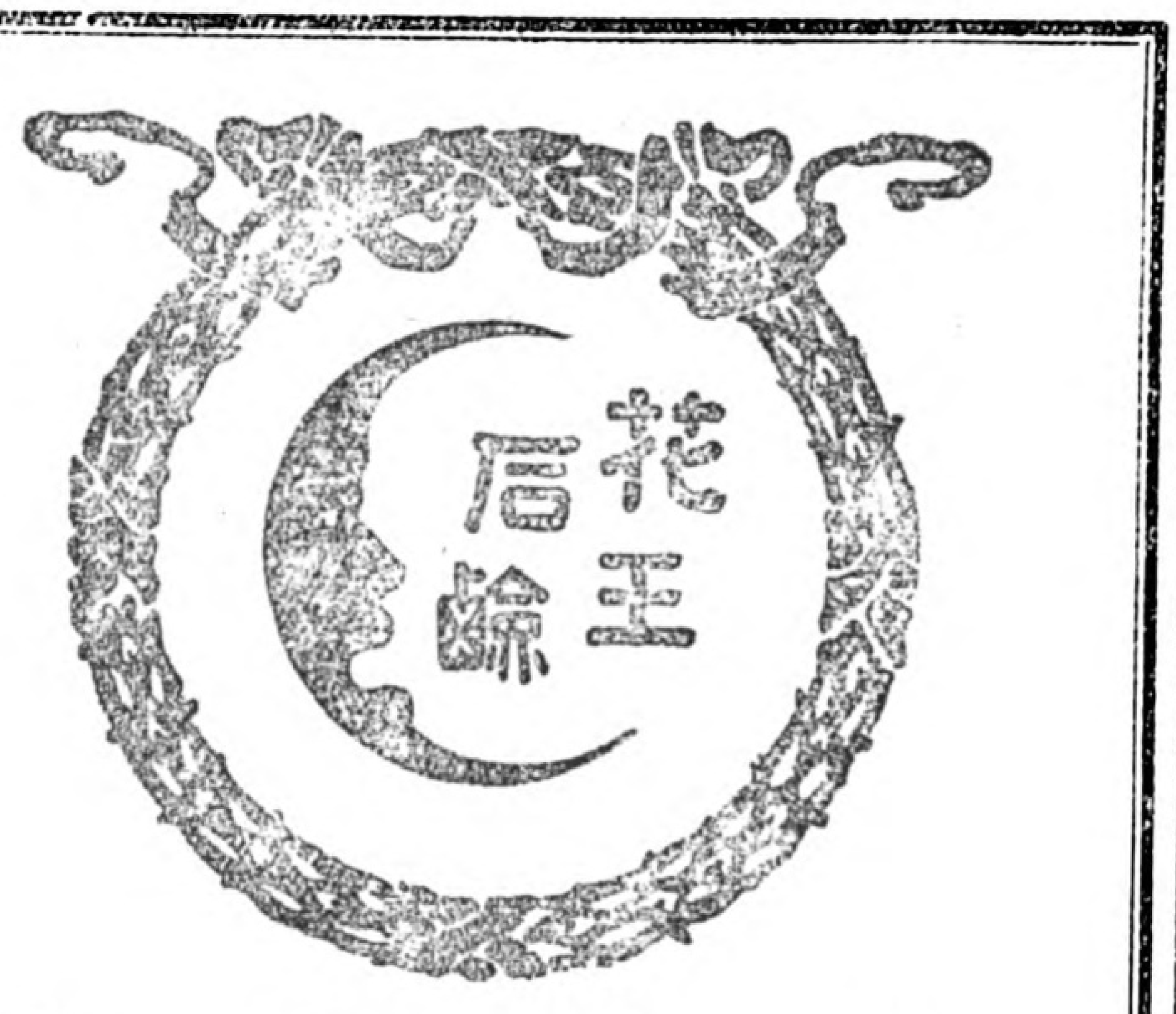
紳士淑女毛髪用

御料　カスガオイル

◎到る所の小間物化粧品店にあり

奥さん奥さんと呼ばれる人がつくるまげわ誠に心切で丁寧だとゆう評判になり終に日本一奥さん髷のあだ名を頂きました又昨年十二月には趣味文藝女鑑及び各新聞の雑報にて六高評を受けましたから益工女を養生致しあだ名に背かぬやう勉强御需めに應ます

五個以上現金小包引替て遠方迄送り升



花王石鹸の三大特色

衛生として如何に有効なるか？

游離質其他混合物等なきが故に肌を粗す事なく能く皮膚を清淨ならしむ又配合藥の作用に依てにきび。ふきでもの等を生ぜず加ふるに傳染病豫防の効あり

經濟として如何に德用なるか？

品質純良なるが故に其多量を要せずして數多のやはらかき細泡を生じ能く垢を去り加ふるに價格廉にして永く使用し得らるゝの德あり

化粧として如何に有効なるか？

肌を美麗に色艶を能くし髮を洗へば毛をやはらかく光澤を生じ加ふるに使用後さつぱりとして石鹸分を殘留する事なし

花王石鹸本舗　東京市馬喰町　長瀨富郎

關西代理店　大阪市安土町　大崎組商會

十一月一日より

冬衣賣出し

よせぎれ見切反物日々新品差加へ申候

日本橋通四丁目

松屋呉服店

牛山武兵衛

電話本局（六〇八六・七一六）

鳩山法律事務所

擴張廣告

今般帝國大學に於て名譽を以て卒業したる法學士鳩山一郎氏を聘し大に業務を擴張す

明治四十年十月

東京市京橋區山城町三番地

鳩山法律事務所

自分儀鳩山法律事務所に於て法律事務の依賴に應ず

法學士辯護士　鳩山一郎

○家庭衛生便所改良の魁

我が舊式便器は因襲の久しき習慣が第二の天性を爲す如く世人兎角改良に注意せざるが多きも其弊害たるや平素不知不識の間に夥多の疾病素因を釀生し遂に大患慢性と成る者比々皆然り又此構造に於て現に危險と惡感を抱くは何人も首肯する所なれば其便所改良の要一日も決して等閑に附す可らざるなり就ては弊堂多年此改良に研精を積み漸く左記の便器を考案發明し頗る各位の御賞替を得陸續御用命に接す此構造は本邦習慣に基き如上の弊害を除くは勿論泰西諸國の其物より猶一層進歩を極む就中專用便器は其据付け特に便所の改造を要せず直に本器の應用裝付に止り眞に衛生無比其體裁亦高尚優美にして恰も仙境に入りて快便を爲すが如し大方諸君速に御試用を賜へ

○特許鞍形衛生便器

本器は厠に据付け腰を掛け附屬保護器にて安樂に便用し得る最も健康利便に意を注ぎたる淸潔優美の發明品なり

○實用衛生おまる

此おまるは腰を掛け安樂に便を爲す構造にて衛生完備小兒發育老人常用病人看護等に適當なり

○實用鞍形衛生室內便器

本器は前掲鞍形便器の萃を拔き衛生おまるの華を集めたるが如き高等室內便器なり

（五二一會進歩銅牌受領）

○東京下谷車坂町五十五番地車坂停留場前　發賣元　平野鶴齡堂

○特約販賣所　小石川柳町廿四番地　敬勝堂

資本金八百萬圓

東京京橋區木挽町
株式會社　十五銀行
電話新橋　一三〇〇番　三三〇〇番　一九三三番

同日本橋區新乘物町
同　日本橋支店
電話浪花　一九〇一番　三二七四番　三五〇八番

一定期預金　六ヶ月以上年六分
一當座預金　日步七厘以下
一特別當座預金　同　壹厘錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Always get the Emulsion with this mark—the Fishman—the mark of the "Scott" process!

肺炎に罹りたる後スコット乳菓を用て健全となりたる例證

愚息儀肺炎に罹り滿三ケ月間伏蓐罷在り萬一回復するも結局は肺結核となるべしとの事にて總身肉落ち骨顯れ見るも不憫の容体と相成申候然るに醫師の勸告に由りスコット乳菓を服用せしめ候處未だ一壜も飲み盡さゞるに食慾大に進み總ての經過良好となり現今にては却て罹病前の何れの時よりも健全にて全くスコット乳菓の効驗の致す所と確認致候

相替らずスコット乳菓を嗜好致候拙者共はスコット乳菓が愚息に與へたる好果を視て右愚息の平癒を以て全くスコット乳菓の効驗の致す所と確認致候

千九百六年三月十一日

シーフキルド、ドールセット街六拾三番地
ジョン、イー、ブレーキー

右快復の理由

右ジャッキー、ブレーキー、が肺結核とならずして快復したるは全くスコット乳菓中に含有する優逸なるロフオテン大口魚肝油（最上等にして最高價なる肝油）が其肺臟を癒やし其全身に良好堅靭なる筋肉を造成せしむるの精力を有したるが爲めなり

他のありふれたる大口魚肝油乳菓は斯くスコット獨得の完全なる製法に由りて充分に消化し易くせられたる最も純良にして最も活力に富める肝油にて製せられたるものに非らざるが故に斯の如き偉功を奏する能はず

包裝の大口魚を負へる漁夫は前述の如き驚くべき快復が唯偶然のことに非らずして確實の事實なることを保證す

最上醤油之元祖

宮内省御用達

開業二百六十三年

釀造元　下總銚子町　濱口合名會社
振替貯金口座五〇二二一番

看護婦生徒募集

●十一月十一日新學期開始
●軍人遺族、廢兵家族無料

牛籠門外　私立日本看護婦學校

内務省衛生試驗所檢査濟

ムスク香油

●原料は純良なる植物油
●芳香は「スミレ」と「ムスク」（壹瓶五拾錢）

東京本石町四丁目
ムスク香水本舗
松澤常吉

プレスト洗粉

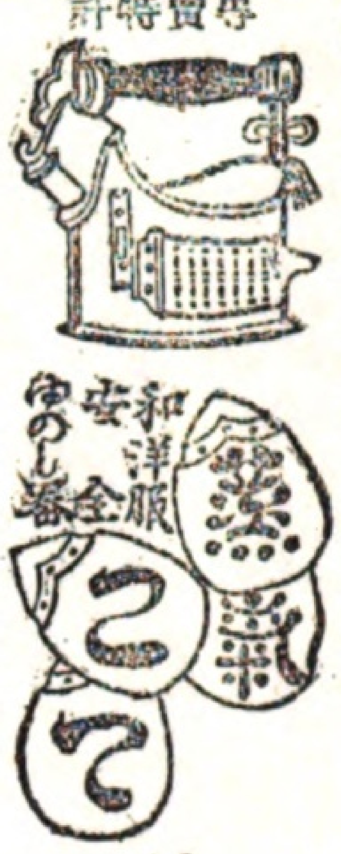
本品の色は最も皮膚に有効なる原料を以て精製したる者なれば色を白し肌を滑かならしむ

定價（袋入 錫入）　貳錢 七錢　同五錢 同拾五錢　大袋拾錢 特別壹圓也

本舗　東京牛込西五軒町　山本玉川堂

賜宮内省御買上の榮、金牌受領

專賣特許



は早晩備へねばならぬ家庭の必要品なり一日早く求むれば一日多くの重寶を得

（市内は參上）（説明書送呈）

東京麹町二　千歳商會

商品案内表無代送呈

大勝堂

東京銀座通尾張町
電話新橋二二六四番

美顔料

CREAM

クリーム石鹸

色黒き人に告ぐ

肌を艶白たらしめんと欲せば牛乳浴牛乳浴に勝るは

香氣馥郁として香水包袋の代用をなす

定價　小形十五錢　大形廿五錢　五十錢

發賣元　東京神田久右衛門町　オーケー商會

◉珍らしい新輸入品

佛蘭西新式　薄化粧料　煉白粉代用品

最も日本婦人に適應し而も皮膚の營養滑澤に實効ある

フエースクリーム

本品は水又はぬるま湯にて顔を洗ひかわきたる後小量を手のひらにて萬遍なくぬり摩擦すれば實にゑも云へぬなめらかによきつやを出し香氣よく自ら精神を爽快ならしめあれを防ぎ白粉やけ又は皺のよる憂なく、又襟の汚れることなき最も斬新良好なる薄化粧として紳士貴婦人間に高評あり

●定價　一瓶三十五錢

賣捌所は全國到る處の小間物化粧品店にあり

發賣元
東京日本橋本町二丁目
チエリートオイル本舗
高橋初次郎
（電話本局四一三番）

袴乃親王

卸部　東京日本橋區長谷川町　美濃磯本店　電話浪花二八五九番

小賣部　本郷區本郷五丁目　美濃磯本郷支店　電話下谷一四一五番

淺草區諏訪町　美濃磯淺草支店

日本橋區佐内町　美濃磯佐内町支店

神田區小川町　美濃磯神田支店

深川高ばし際　美濃磯支店

芝區新櫻田町　小田商店

牛込區神樂町一丁目　伊澤商店

四谷區傳馬町一丁目　伊澤支店

目

優美高尚　生粋模様

半ゑり帶揚類

○染模様絞り形長襦袢○同襦袢袖○羽織肩裏
○季節用ショール○帛紗○下締め○ネクタイ
○御祝ひじめしごき○涎かけ○守巾着○前掛類

諸刺繍絞

新橋竹川町十二　電話新二〇二七　本店　ゑり治

神田表神保町壹　電話本局九五二　支店　ゑり治

新橋　博品館内出店　ゑり治

松澤ホーサン石鹸

○本品は色白くつやをだす最良の化粧用石鹸なり
○近來にせ物多し松澤ホーサン石鹸と御取求めなさい

（大形二十錢）（小形十錢）

東京日本橋區本石町
ムスク香水本舗
松澤常吉
（振替貯金口座四四四七號）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新輸入ブローチ荷着發賣

今回發賣のブローチは曩に本店より貴婦人令孃方の御好に適する新圖案を選定し注文の品漸々入荷仕候特に本店は實用を專一に製作を巧妙に金量を輕減し意匠圖案は凡て本邦美術的趣味を應用し各寶石の點篏色彩鑛金の配色に意を用ひ製作せしめし實用と裝飾を兼備したる佳麗なる品に有之候尚圖外珍形數十種御座候に付何卒ブローチ御用ひの季節柄澤山御用命之程奉願候

價額　拾貳圓拾五圓二十圓より圖外珍形數拾種有之何れも拾圓より各種御座候

秀節柄御進物として一美麗なる小間物切手調進仕候

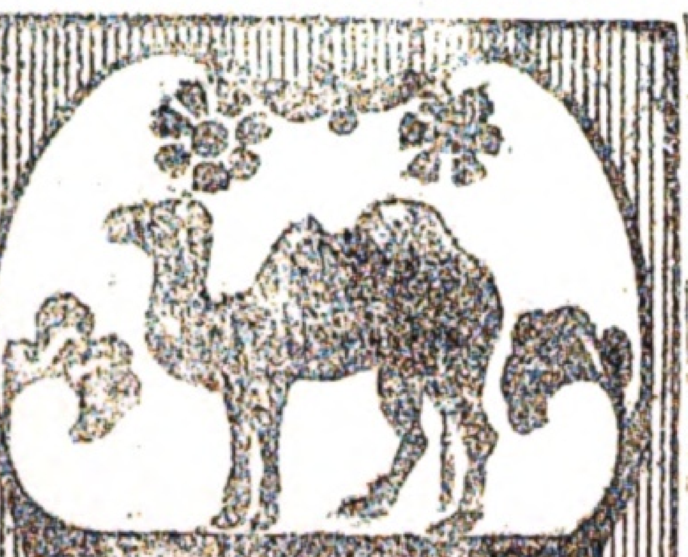
東京市京橋區尾張町　白牡丹本店　電話新橋五五一番

醫藥案内御入用ナレハ廣告切取御申込被下度候

東京勸業博覽會一等賞牌受領

美術造花材料

東京市日本橋區横山町壹丁目拾六番地　天野卯兵衛商店　電話浪花一六四三番　振替貯金口座四九七〇番



ラクダ石鹸

ラクダ印麝香石鹸は高貴なる麝香に愛すべき「スミレ」の香料を多量に含むが故一度使用せば其香氣五日間馥郁としてかをりを失はざる一大特點を有す

定價　大形廿錢　小形十錢

東京日本橋區本石町三丁目　芳香藥種問屋　本舖　井上太兵衛

英國最新輸入　正眞クイーン白粉　無害　高等クイーン香油　クイーンオイル

本舖　東京　三井花陽堂

羽根蒲團　毛布膝掛　小兒帽子　リボン造花　手袋沓下　西洋小間物

新形ボアー。マフ絹ショール。毛布

東京牛込神樂坂下　朝日堂　電話番町一六九九

毎號發刊忽ち賣切れの盛況

女學雜誌　女子文壇

十一月一日發行　第拾四號　定價拾錢　郵稅壹錢

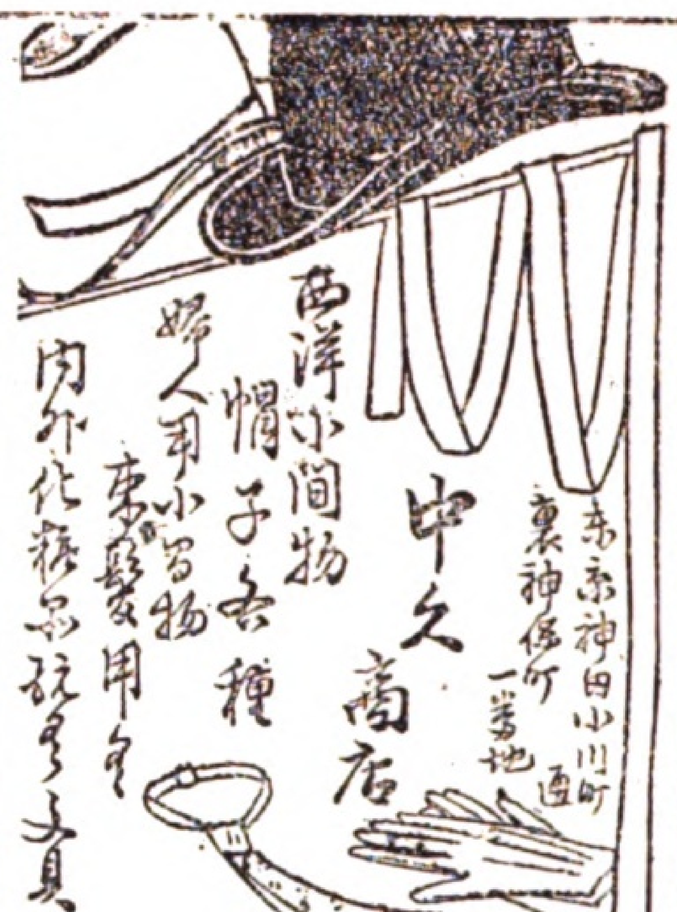
本號には改正懸賞募集項目を掲ぐ就て見よ！！

第拾五號は增刊　山茶花　十一月十五日發行　價送共拾壹錢

發兌　東京京橋　女子文壇社　實物到達あ

西洋小間物　帽子各種　婦人用小間物　束髮用品　内外化粧品弘賣

東京神田小川町通　裏神保町一番地　中久商店



最新流行　美術繪模樣　諸和洋物品　束髮用品　和洋化粧品　香水石鹸

東京日本橋區…町　よし…　電話浪花一〇六

預金利子　定期預金　當座預金　別口當座

最新流行　御婦人小間物　季節向陸續着

本店　東京神田須田町十　三ツ井屋　電話本局二〇七六番

支店　神田神保町東明館内　新橋ぎわ博品館内　芝公園勸業館内

商品目錄御申越次第送呈

洋服、二重廻、吾妻コート、ネル仕立ノ儀ハ市内ハ御報次第店員參付何色ナリ染替新ニナリ候　地方ハ小包便定價表送呈　廉價ト迅速

東京芝區大門　京都支店　都屋

胃病良藥　太田胃散

懐中要藥

清心丹

ハスタムスク石鹸

東京博覽會機械館に於て

東京横山町　脇田盛昌堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱

東京區數寄屋橋外 弘報堂
神田三河町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸社
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區箱崎町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜舍
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衛門町 京華社支店
同區南鍋町 廣告社

洗用 ワツセル

◎此ワツセルは油じみ油あか如何なる汚れでも揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
◎用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し揉ずに置き後湯又は水にて洗へば自然に脫ますシヤンの如きは（拾貳号）入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗ふ樣に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具を拭き掃除にも有効です
定價 拾貳号入 金拾五錢 六号入 金八錢 袋入二錢

芳香御肌洗粉 ワツセル

◎此肌洗粉ワツセルは當時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひずして御化粧が出來ると妙なり
定價最上 金七拾五錢 金貳拾錢 普通 五拾錢 六錢 參拾錢 三錢 拾七錢
東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二
英國製ワツセル日本一手販賣元 御肌洗ひ芳香ワツセル製造元 三友商會

米國日用 美顏術化粧料
皮膚の營養を永久に保つ
完全なる電氣乳劑
スキンフード
試用料 金貳拾錢
一瓶 金五十錢
保證販賣所 東京京橋南傳馬町 大西白牡丹

伊藤銀月氏著 島の美少年
情熱と魄力とは一塊の孤島を鎔して湯となす
◎田代曉舟氏口繪◎實價四十五錢
◎四六版洋裝美本◎郵税 四錢

江見水蔭氏著 寒潮暖潮
◎武內桂舟氏口繪◎實價五十五錢
◎洋裝 頁◎郵税 八錢
著者韓國の山海を視察し歸來し大思想を捕へ來つて一大雄篇を爲す、本書は戀愛以外眞の戀愛を說き、世界いまだ知らざる秘密の海戰を記し、天下を驚動せしむるもの

發兌元（東京日本橋通り四丁目）春陽堂

東宮妃殿下御買上ノ榮ヲ得タル化粧水ハ本品ノミ

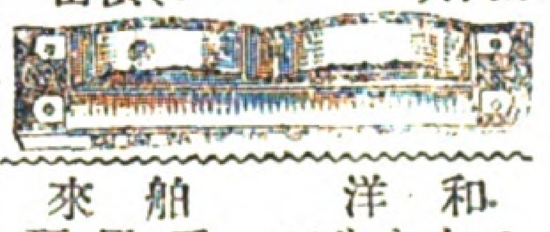
牛乳ノ主成分ニテ製セル
乳白化粧水
レート
定價 大金五十錢 小金三十錢 內地郵送料金八錢 臺灣清韓郵送料金三十錢
東京市馬喰町一丁目 平尾贊平
大阪市南久寶寺町四丁目 平尾贊平支店
販賣店ハ全國到ル處ノ和洋小間物商及ビ賣藥店ニアリ
レートは美人ばかりが用ふる品ではないレートを用ふると美人になるのが不思議……いや不思議ではない効能があるからである

第六回 新形發賣
御婦人用 胡蝶形表附（甲 金貳円 乙 金壱円七拾錢）
紳士用 意匠美形表附
十一月一日より五日間大賣出し
祝七五三 嶄新新時繪表附御履物各種あり
地方ハ御一報次第小包引替ニテ直樣發送仕候
淺草區茅町貳丁目 香取屋本店 長電話下谷千百九十二番

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候
宮內省御用達 玉寶堂 電話下谷（特九六五番 一二四四番）

西洋（ハーモニカ）横笛



◎教育的高等玩具類
◎軍樂隊用樂器類
和洋バイオリン 舶來手風琴 平圓盤發音器

東京博覽會壹等賞牌 西川風琴

音律正確 堅牢無比
長原春田著 明笛和樂獨習栞 正價廿五錢 郵税四錢
郵劵二錢にて詳細目錄進呈
東京銀座三丁目 十字屋樂器店

藥品之純良

醫家處方調劑

醫師ノ處方ニ係ル調劑ハ極メテ親切丁寧綿密ニ且ツ迅速ニ調劑ス當藥局ハ既ニ久シク大醫諸先生ノ信認ヲ辱ウシ尚東京郵便局ノ指定調劑所タルノ光榮ヲ有ス藥局トシテノ設備又大ニ完全シ醫家ノ處方箋ニ係ハル調劑ハ必ズ藥局主任之ヲ擔任ス
神田區今川小路電車停留場前 尾澤純良堂 電話本局一五一八番
藥劑師 大西橋三 藥局
藥局主任藥劑師 田中利弘

調劑之精確

明治四十年十一月三日發行（毎月三日廿日二回）（定價金三錢一ヶ月六錢郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 大久保高明 發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所 印刷所 東京牛込區市ヶ谷加賀町 秀英舍工場

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

八集　短文　隨意　選者　編輯局
回集　新體詩　同　同
注意事項は凡て前號掲載の通

總裁殿下御家庭（本號繪附錄參看）

閑院宮家の竹の御園の彌々榮え來ますはよろこびのきはみにこそ今その王子女を順次に申し上ぐれば、恭子女王茂子女王季子女王春仁王寛子女王の御五方おはす謹しみて左に御生年月等を記し奉らん

春仁王　明治三十五年八月三日御生誕
恭子女王　第一女明治廿九年五月十三日御生誕
茂子女王　第二女明治三十年五月廿九日御生誕
季子女王　第三女明治三十一年十一月二日御生誕
寛子女王　第四女明治三十九年二月廿一日御生誕

恭子、茂子、季子の御三方は跡見女學校に御通學遊ばし御三方共打揃うて御成績秀ぐれ給ふとは已に世に傳へまつれば詳しきは茲に省きつ、治仁王は學習院小學校に學ばせ給ふが、其の御性質は父宮殿下に肖させ御利發に渡らせ給ふ、曾て御邸に仕へまつる侍女某が許に郷里の其甥よる尋常二年生の者が寫眞に添へて片假名の手紙を送りこせしに、春仁王熟々と御覽じ寫眞と見較べ『是は本統に此人が書いたのか』と御感心あり、間食は一切遊ばさぬよしにて、又王は太く動物を好ませ給へど、鼠のみは嫌はせらる、過ぎし頃御湯殿にて一疋の鼠の御目に止まりしに『僕は大嫌ひだ』と足踏み鳴らして追はせ給ひしを、母宮殿下の聞かせられ『何故鼠は嫌ひか』と問はれしに『鼠はベストてせう』と答へ給ひしとなん、又昨年二月二十一日御生誕遊ばし寛子女王には日増に御發育あり、此頃は音のある方に御頭を向け御言葉さへ分かる機にならせられ父君に肖させ給ひし清秀の御顏の見上げ奉れば、何處となく威ありて氣高けく、笑はせ給ふ時の愛らしさは、月にも花にも譬へんやうなしとぞ承る。

●評議員會日取　十一月廿七日第四水曜日午後二時開會

●評議員會　十月廿三日午後開會參事會員滿期改選の件本會事業に關する件會費滯納者取扱の件等に付審議可決す參事會員七名の處十名の定員となし左の人々當撰せられたり

山脇房子　鳩山春子　松平須磨子　仁杉歌子　闕郁子　東郷鐵子　三輪田眞佐子（以上新任）濱尾作子　中山孝子　高木幸子（以上重任）

●當日役員方の出席者は左の諸氏なりし

岩倉會長　近衞貞子　岡部坦子　黒田清子　東郷鑛子　阿部篤子　本莊幸子　鍋島男子　佐藤靜子　濱尾作子　鳩山春子　丹羽花子　早川里子　大谷加知子　渡邊いね子　高木錦子　高橋壽々子　中山[illegible]子　長岡芳子　内山謙子　熊谷よし子　山脇房子　杉浦島子　藤井とく子　古市幸子　[illegible]渡子　有島幸子　三輪田眞佐子　三井照子　三井五十子　仁杉歌子　井上光子　闕郁子

●皇太子殿下の御下賜金　過般御渡韓あられし皇太子殿下は韓國本部會務擴張基金に充つるの思食を以て金壹千圓御下賜ありたる旨韓國本部顧問鶴原定吉氏より電報にて上申ありたり

●特志寄附　在米國加州『ヴアレシオ』市甲斐の國人小尾幹顧氏より今回金百五拾圓を本會に託し各地水害罹災者へ寄贈方依頼し來れり本會は右金額を京都、東京、山梨、茨城、兵庫、埼玉の二府四縣に分配贈與の手續を爲したり因に同氏は甞に赤十字社及本會等に寄附金をなし又昨年も孤兒院に寄贈方依頼し越たる事ある慈善家なり

●古市評議員の寄附　同氏は今回本會へ金百圓寄附せられたり

●評議員酒井夏子氏の葬儀　客月十八日午後三時逝去されし同氏の御葬儀は豫定の如く同月廿二日谷中齋場に於て執行せられたり當日本會より左の諸氏會葬せり

會長　岩倉久子（代人）
理事　岡部坦子　戸田時子　山地[illegible]子　松平八百子
評議員　細川同子　濱尾作子　尾崎八重子　松平須磨子　清浦鍈子　闕郁子　鳩山春子　原禄子　片山[illegible]　佐藤靜子　棚橋絢子　中山幸子　山脇房子　高木錦子　有島幸子　佐々木芳子　菊地蔵子　佐藤眞子　花房[illegible]子　輪田[illegible]子　東京支部幹事　中澤久米子　仁杉歌子　笠井梅野子　宇津木ひろ子　清水はな子　横山むら子　闕万代子　下瀬勝子　山上徹子　桑原朝子　飯塚[illegible]子　鵜島子　中村銑子　柘植愛子　寺井豐子　惠子　賀八重子
右の外本部事務員數名

●評議員南郷柳子氏逝去　氏は客月廿一日腦溢血にて突然逝去せられたり享年五十七歳本會の創立以來功蹟ありしに遽然此不幸を見る深く哀悼に堪へず同月廿四日染井墓地へ埋葬せられ本會よりは特に生花一對を寄進し尚ほ左の諸氏會葬ありたり

會長　岩倉久子（代人）
評議員　山地蘇子　濱尾伊子　佐藤八重子　松平須磨子　有地[illegible]子　中山幸子　古市靜子　麻生[illegible]子　松平丹子　高村[illegible]子　下瀬勝子　小川市子　木村洋子　羽田房子　安田[illegible]子　花房[illegible]子　佐藤正子　淺野[illegible]子　野子
會計監督　本部事務員數名

●築野シヤトル委員死去　北米合衆國ワシントン州シヤトル市東洋貿易會社社長兼米國東洋銀行頭取築野又次郎氏は本年九月十二日誤て汽車に觸れ不幸の即死を遂げられたり同氏は本會海外委員として會員贊助員を紹介し且つ寄附金募集に盡力を致され其功蹟亦顯著なりしに突然今回の如き不幸を見しは深く悼惜に堪へず同地委員部に於ては送葬の日を以て吊詞と共に花を寄進せり

●鞍馬進水式を拜觀す　一記者

▲軍艦鞍馬　過ぎし日露戰役の際に計畫され橫須賀海軍工廠に於て工を起したる[illegible]

[illegible]

（以下次號につゞく）

愛國婦人會會員女子人口比較表（前號の掲載誤記に付更正掲載）

支部名	特別會員	通常會員	計	女子人口（三十六年末）	女子百人ニ付會員數	贊助員
石川	一、九九一	一九、五二四	二一、五一五	三八五、四七八	五、五八	六一
山口	八七九	二五、九四八	二六、八二七	五〇六、九二〇	五、二九	八
山形	九八八	二〇、七一三	二一、七〇一	四三九、六一八	四、九四	一〇三
愛知	一、五六二	三六、二七五	三七、八三七	八六八、九三八	四、三六	六
福岡	二、八一四	三〇、四一〇	三三、二二四	七七二、七四三	四、三〇	四
岡山	一、一〇三	二二、六四〇	二三、七四三	五七七、二七二	四、一一	一二
兵庫	二、二八七	三四、三七六	三六、五六三	八九三、七三四	四、〇九	一七
富山	九八九	一三、三一三	一四、三〇二	三八四、九八二	三、七一	—
北海道及函館	三、二六六	一五、三五三	一八、六二一	五〇七、六三八	三、六七	六二
愛媛	五四四	一八、二〇三	一八、七四七	五一一、三九六	三、六三	四〇
神奈川	一、七六四	一六、三一九	一八、〇八三	四九九、六二三	三、六二	四二
熊本	二、八七〇	一八、〇八一	二〇、九五一	六一〇、四一一	三、四二	一三
香川	八二三	一〇、六九一	一一、五一四	三四七、八九〇	三、三一	—
京都	二、三六九	一四、八二四	一七、一九三	五二一、三九五	三、三〇	一九
青森	一、三九七	九、〇九三	一〇、四九〇	三二二、二一一	三、二六	九
秋田	八二二	一二、〇二九	一二、八五一	四〇三、九四六	三、一八	二
島根	三八六	一〇、八八一	一一、二六七	三六二、六三五	三、一一	—
群馬	一、五〇六	一二、〇一〇	一三、五一六	四五四、一七一	二、九八	二三三
福井	八三四	八、〇〇〇	八、八三四	三〇二、一五四	二、九二	一一
宮崎	三一一	六、八七六	七、一八七	二四七、二七二	二、九一	八
佐賀	九一二	八、四一九	九、三三一	三二七、六五八	二、八五	二
長崎	三、二六三	一〇、六〇九	一三、八七二	四八九、三四〇	二、八三	一二
宮城	一、四八一	一〇、五九六	一二、〇七七	四四五、〇二七	二、七一	一
大分	八五一	一〇、四二五	一一、二七六	四三〇、〇二五	二、六二	三
栃木	八三九	一〇、六四二	一一、四八一	四五〇、一四六	二、五五	七七
三重	四三一	一二、四九五	一二、九二六	五二二、〇九三	二、四八	一
奈良	二八九	六、一八二	六、四七一	二七八、一〇一	二、三三	—
德島	三五三	七、四一六	七、七六九	三五二、六七一	二、二〇	五
岩手	六八三	七、四六六	八、一四九	[illegible]	二、二七	一一
大阪	三、二六四	一五、四八四	一八、七四八	八六三、四一八	二、一二	五七
東京	八、四五九	一六、〇九四	二四、五五三	[illegible]	二、一九	二九
高知	二五二	六、四〇二	六、六五四	三一一、二四四	二、〇一	—
靜岡	七〇〇	一二、一六八	一二、八六八	六四八、八五五	二、〇九	[illegible]
福島	一、二五三	一〇、三六〇	一一、六一三	五八〇、一八八	一、九三	[illegible]
滋賀	四六三	六、二一一	六、六七四	三六四、六三八	一、八三	[illegible]
廣島	一、六二二	一二、〇四八	一三、六七〇	七四六、六八五	一、八三	[illegible]
千葉	一、〇二五	一〇、七一四	一一、七三九	六五六、七五二	一、七九	[illegible]
長野	九七六	一〇、三五九	一一、三三五	六七四、二八八	一、六八	[illegible]
山梨	三九九	四、〇〇六	四、四〇五	二七二、一一八	一、六二	[illegible]
新潟	一、一八九	一二、七一九	一三、九〇八	八九九、〇四一	一、五五	[illegible]
茨城	五三六	八、四六三	八、九九九	六〇四、四二三	一、五〇	[illegible]
埼玉	三六〇	八、〇二八	八、三八八	六二七、五一六	一、三四	[illegible]
鹿兒島	一、〇九八	五、九三七	七、〇三五	五九四、七五五	一、一八	[illegible]
岐阜	七八八	四、六二一	五、四〇九	五〇二、六八八	一、〇八	[illegible]
和歌山	二九二	三、四六八	三、七六〇	三五〇、〇六九	一、〇七	[illegible]
鳥取	一七二	二、〇六五	二、二三七	二一七、五四一	一、〇三	[illegible]
臺灣	三二四	一、五〇〇	一、八二四	[illegible]	〇、九一	[illegible]
沖繩	三四五	一、六二六	一、九七一	二三九、二二七	〇、八二	[illegible]
海外	七六〇	二、一八四	二、九四四	—	—	[illegible]
計	六三、八八四	六〇四、一六八	六六八、〇五二	二五、三一三、〇四〇	二、六四	[illegible]

備考
支部ノ配列ハ會員比例數ノ最モ多キモノヨリ順次配列ス
北海道及函館ノ兩支部會員數ハ合算シテ掲載セリ而シテ函館支部會員數ハ特別五百十九人通常千八百二十八人ニシテ他ハ北海道支部會員數ナリ

●韓國委員本部　去月末日役員會を開き便宜上京城委員部を直轄とすると決議し目下其手續進行中との事又本月九日京城に於て大會を開くことを決議せる由●東京支部　牛込幹事部に於ては去月[illegible]せる慈善演藝會收得金を以て同部内遺族を招待慰藉するが爲本月九日小石川後樂園に於て園遊會を催す由當日は種々なる餘興を催ふし尚ほ同幹事部役員會員は共同して大いに斡旋すると云ふ事なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

[illegible]

● 緊急申告

支部內近況記事、愛國美談

資料等續々寄送を望む

愛國婦人發行所

各支部の狀況

◎福島支部

[illegible]

◎熊本支部

[illegible]

◎寄附

[illegible]

◎德島支部

[illegible]

◎山口支部

[illegible]

◎廣島支部

[illegible]

◎愛媛支部

[illegible]

◎高知支部

[illegible]

◎岐阜支部

[illegible]

◎青森支部

[illegible]

◎宮城支部

[illegible]

◎北海道支部

[illegible]

◎茨城支部

[illegible]

◎香川支部

[illegible]

◎東京支部

[illegible]

愛國美譚

北海道支部夕張部幹事　武川ろく子夫人の熱誠

夫人は北海道夕張部長沼村に在住し、良人は同地の小學校長を奉職せり。三十八年中卒先して本會特別會員に入會せしが、時恰も日露戰役中にて、擧國一致國難に處せる折柄とて、婦女子と雖も、心力の及ばん限り、何なりとも盡力し、聊かたりとも國恩に報じたきものと、けなげにも獨り覺悟を極め、まづ身に適合せる本會の事業に盡さんとて、是より農家の妨げとならざる雨雪の日を選み、草鞋を穿ち握飯を携帯して各家を往訪し、本會の趣旨を熟話し、諄々説いて倦まず、[illegible]元來同村は郡內の南に僻在し、東西三里南北七里餘の村落にて、加之交通不便にして、人家點在し、晴天の日と雖も、一日に十戸と往訪するは容易にあらざる僻村なるに、然かも際夏に風雨の日を選み、艱苦を意とせず、銳意本會の擴張に盡瘁されたる夫人が、眞心の効果は空しからずして、數月を出でざるに、僻陬の寒村にして一百名以上の會員を有するに至らしめたり。斯て本年一月その赤誠に感化せられたる同志の會員と篤志者とを併せて委員部總會を開くに至れることとて[illegible]。去る際に良人は、命に依り郡內角田村栗山小學校に轉勤することゝなりしため、夫人も亦本村を離るゝ身となりたれば、會員一同は深く別を惜みけり。爰に夫人は一同が籠めし眞心の祖道を受け、同地を引上られぬ。されど、熱誠もゆるが如き夫人の心中には、居所こそ變れ、なかく〜に愛國の念はいや增しつゝ、移轉後の家事整理もそこ〜に、再び角田村の狀況に意を注ぎしに、啻に會員の少數なるのみならず、會務の活動更になければ、爰に再び立て擴張に努むべく、此程その現況と將來の希望とをこまぐと懇述せる書狀を支部事務員小池九一氏に寄せられたる由。斯くも多年終始不變の熱誠は、深く河島支部長の認知するところとなり、十月五日付を以て特に謝狀に賞品を添て贈呈するに至れりといふ。北海の邊陬にまで、斯る熱誠の篤志家を有することは本會の爲、誠に嬉しき極みなれ。感ずるの餘り、夫人が赤誠の一端をかくはものしつ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會總裁殿下御家庭

明治四十年十一月三日發行（每月二回五日廿日）
明治三十五年三月二十七日（第三種郵便物認可）

閑院宮殿下　恭子女王　春仁王　茂子女王　季子女王　閑院宮妃殿下　寛子女王

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　大久保高明
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場　發行所　愛國婦人會内愛國婦人發行所

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN